

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人睦学園

(2) 大学名

兵庫大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒675-0195

兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	ワタナベ アズマ 渡邊 東 (平成20年1月15日)		
学長	コウノ マコト 河野 真 (平成28年7月1日)		
学部長	ナガオ ミツシロ 長尾 光城 (平成29年4月1日)		
学科長等	ナガオ ミツシロ 長尾 光城 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	4年	90人	— 年次人	360人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	90人 () []		90人 () []		90人 () []				1.14倍	—倍	
志願者数	626 () []		601 () []		615 () []						
受験者数	600 () []		576 () []		546 () []						
合格者数	152 () []		143 () []		158 () []						
B 入学者数	109 () []		103 () []		98 () []						
入学定員超過率 B/A	1.21		1.14		1.08						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	110 [-] (-)	- [-] (-)	103 [-] (-)	- [-] (-)	98 [-] (-)	- [-] (-)	[]	[]	
2年次	/		106 [-] (-)	- [-] (-)	104 [-] (-)	- [-] (-)	[]	[]	
3年次			/		/		104 [-] (-)	[]	[]
4年次	/						/		[]
計			110 [-] (-)	209 [-] (-)	306 [-] (-)	[]			[]

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	110 人	4 人	平成29年度	4 人	0 人	・就学意欲の低下(2人) ・就職(1人) ・学生個人の心身に関する事情(1人)
平成30年度	209 人	2 人	平成29年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(2人)
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	306 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			平成31年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合 計		6 人		6 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{110} = \boxed{3.63} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{209} = \boxed{0.95} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{306} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
建学の精神	宗教と人生	1前	2								1
	仏教と現代社会	1後	2								1
	小計(2科目)	-	2	2							1
コミュニケーション	日本語(読解と表現)	1前	2								2
	英語	1前	2								1
	実用英語Ⅰ	1後	2								1
	実用英語Ⅱ	2前	2								1
	実用英語Ⅲ	2後	2								1
	中国語(初級)	1前	2								1
	中国語(中級)	1後	2								1
	韓国語(初級)	1前	2								1
	韓国語(中級)	1後	2								1
	コンピュータ演習	1前	2								2
	小計(10科目)	-	6	14							8
国際理解	国際理解と宗教Ⅰ(キリスト教)	1前	2								1
	国際理解と宗教Ⅱ(イスラム教)	1後	2								1
	国際関係論	1後	2								1
	比較文化論	1後	2								1
	小計(4科目)	-	8								4
歴史と文化	歴史学	1前	2								1
	文学	1前	2								1
	芸術	1後	2								1
	色彩とデザイン	1前	2								1
	小計(4科目)	-	8								4
地域に学ぶ	地域文化論	1後	2								1
	小計(1科目)	-	2								1
現代社会を読み解く	哲学	1後	2								1
	法と社会	1後	2								1
	日本国憲法	1前	2								1
	人権の歴史	1前	2								1
	政治学	1前	2								1
	社会学	1前	2								1
	経済学	1前	2								1
	現代社会の理解	1前	2								1
	小計(7科目)	-	14								7
自然と科学	生命倫理学	1後	2								1
	心理学	1前	2								1
	化学	1前	2								1
	生物学	1後	2								1
	小計(4科目)	-	8								4
くらしと健康	食と健康	1後	2								1
	健康・スポーツ科学Ⅰ(講義)	1後	2								1
	健康・スポーツ科学Ⅱ(演習)	1前	2								1
	健康・スポーツ科学Ⅲ(演習)	1後	2								1
	小計(4科目)	-	8								2
キャリアデザイン	私のためのキャリア設計	1前	2								1
	小計(1科目)	-	2								1

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
建学の精神	宗教と人生	1前	2								1
	仏教と現代社会	1後	2								1
	兵庫大学の学びと地域と仏教	1後	2								2
	兵庫京都学	1前	1								2
	兵庫京都学	1後	1								2
	小計(5科目)	-	2	6							4
コミュニケーション	日本語(読解と表現)	1前	2								2
	英語	1前	2								4
	実用英語Ⅰ	1後	2								2
	実用英語Ⅱ	2前	2								2
	実用英語Ⅲ	2後	2								1
	中国語(初級)	1前	2								1
	中国語(中級)	1後	2								1
	韓国語(初級)	1前	2								1
	韓国語(中級)	1後	2								1
	コンピュータ演習	1前	2								3
コンピュータグラフィックスの基礎	1後	2								2	
	小計(11科目)	-	6	16							14
国際理解	国際理解と宗教Ⅰ(キリスト教)	1前	2								1
	国際理解と宗教Ⅱ(イスラム教)	1後	2								1
	国際関係論	1後	2								1
	比較文化論	1後	2								1
	小計(4科目)	-	8								4
歴史と文化	歴史学	1前	2								1
	文学	1後	2								1
	色彩とデザイン	1前	2								1
	小計(3科目)	-	6								3
地域に学ぶ	地域文化論	1後	2								1
	建築デザインと地域	1後	2								1
	地域と文化財	1前	2								1
	地域資料を読む	1後	2								1
	日本の伝統文化「将棋」を学ぶ	1前	2								2
	小計(5科目)	-	10								2
現代社会を読み解く	哲学	1前	2								1
	法と社会	1後	2								1
	日本国憲法	1前	2								1
	人権の歴史	1前	2								1
	政治学	1前	2								1
	社会学	1前	2								1
	経済学	1前	2								1
	現代社会の理解	1前	2								1
	小計(8科目)	-	16								7
自然と科学	生命倫理学	1後	2								1
	心理学	1前	2								1
	化学	1前	2								1
	生物学	1前	2								1
	身のまわりの科学	1前	2								2
プログラミング入門	1後	2								1	
	小計(6科目)	-	12								6
くらしと健康	食と健康	1後	2								1
	健康・スポーツ科学Ⅰ(講義)	1後	2		1						1
	健康・スポーツ科学Ⅱ(演習)	1前	2								3
	健康・スポーツ科学Ⅲ(演習)	1後	2								3
	小計(4科目)	-	8		1						4
キャリアデザイン	私のためのキャリア設計	1前	2								2
	キャリア設計	1後	2								2
	ヒューマンサービスとマネジメント	3後	2								2
	入門ボランティア	1選	2								3
	小計(3科目)	-	6								6

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
I群 (健康支援と社会保健制度)	社会福祉論	1後	2								1	
	人間関係論 (カウンセリング含む)	2前	2								1	
	家族関係論	1後	2								1	
	精神保健	1後	2								1	
	環境保健学	3前	1		1							
	保健医療福祉行政論	2後	2			1					1	
	公衆衛生学(疫学含む)	2後	2			1					1	
	保健統計学	2前	2								1	
	小計(8科目)	-	6	9		2	1					4
	II群 (人体の構造と機能)	生物基礎	1前	2								2
化学基礎		1前	2								3	
形態機能論I		1前	2		1							
形態機能論II		1後	2		1							
生化学(未開講)		1後	2	2							1	
栄養学(食品学を含む)		1後	2								1	
薬理学		2前	2		1							
免疫・微生物学		2後	2		1							
小計(8科目)		-	14	2		2						4
III群 (疾病の成立及び回復の促進)		臨床病理病態学I (内科系)	2前	2			1					
	臨床病理病態学II (内科系)	2後	2			1						
	臨床病理病態学III (外科系)	2後	2			1						
	臨床病理病態学IV (周産期・小児科系)	2前	2				1				1	
	小計(4科目)	-	8			2		1				1
IV群 (基礎看護学)	看護学概論	1前	2			1						
	看護理論	1後	1			1						
	ヘルスアセスメント	1後	1		1	1	1	1	2			
	看護技術論I (生活技術援助)	1前	2		1	1	1	1	2			
	看護技術論II (診療技術援助)	2前	2		1	1	1	1	2			
	看護技術論III (看護過程)	2後	1		1	1	1	1	2			
	基礎看護学実習I	1後	1		1	1	1	3	9			
	基礎看護学実習II	2後	2		1	1	1	3	9			
	看護教育学	4前	1		1							
	看護倫理	4前	1			1						
	看護管理学	3前	1			1						
小計(11科目)	-	15			3	2	1	3	9			
V群 (成人・老年看護学)	成人看護学概論	2前	2			1	1	1				
	成人看護援助論I (生命危機状態にある人)	3前	2			1	1	3	1	1		
	成人看護援助論II (常態の維持・増進が困難な人)	3前	2			1		3	1	1		
	成人看護学実習I	3後	3			1	1	3	1	1		
	成人看護学実習II	3後	3			1	1	3	1	1		
	老年看護学概論	2前	2			1	1					
	老年看護援助論	3前	2			1	1	1				
	老年看護学実習I	3後	2			1	1	1	2			
	老年看護学実習II	3後	2			1	1	1	2			
	小計(9科目)	-	20			2	2	3	2	3		
VI群 (母性・小児看護学)	母性看護学概論	2前	2			1						
	母性看護援助論	3前	2			1		2				
	母性看護学実習	3後	2			1		2		1		
	小児看護学概論	2後	2			1						
	小児看護援助論	3前	2			1						
	小児看護学実習	3後	2			1			1			
小計(6科目)	-	12			1	1	2		2			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
I群 (健康支援と社会保健制度)	社会福祉論	1後	2								1	
	人間関係論 (カウンセリング含む)(未開講)	2前	2									
	家族関係論	1後	2			1					1	
	精神保健	1後	2								1	
	環境保健学	3前	1		1						1	
	保健医療福祉行政論	2後	2			1					1	
	公衆衛生学 (疫学を含む)	2後	2			1					1	
	保健統計学	2前	2								1	
	小計(8科目)	-	6	9		3						5
	II群 (人体の構造と機能)	生物基礎	1前	2								2
化学基礎		1前	2								3	
形態機能論I		1前	2		1							
形態機能論II		1後	2		1							
生化学(未開講)		1後	2	2							2	
栄養学(食品学を含む)		1後	2								2	
薬理学		2前	2		1							
免疫・微生物学		2後	2		1							
小計(8科目)		-	14	2		2						6
III群 (疾病の成立及び回復の促進)		臨床病理病態学I (内科系)	2前	2			1					
	臨床病理病態学II (内科系)	2後	2			1						
	臨床病理病態学III (外科系)	2後	2			1						
	臨床病理病態学IV (周産期・小児科系)	2前	2						2		1	
	小計(4科目)	-	8			2		2				1
IV群 (基礎看護学)	看護学概論	1前	2			1						
	看護理論	1後	1			1					1	
	ヘルスアセスメント	1後	1		1	1	1	1	2			
	看護技術論I (生活援助技術)	1前	2		1	1	1	1	2			
	看護技術論II (診療補助技術)	2前	2		1	1	1	1	2			
	看護技術論III (看護過程)	2後	1		1	1	1	1	2			
	基礎看護学実習I	1後	1		1	1	1	3	9		4	
	基礎看護学実習II	2後	2		1	1	1	3	9		4	
	看護教育学	4前	1		1							
	看護倫理	4前	1			1						
	看護管理学	3前	1			1					1	
小計(11科目)	-	15			2	2			4	1		
V群 (成人・老年看護学)	成人看護学概論	2前	2			1	2					
	成人看護援助論I (急性期)	2後	2			1	2	3				
	成人看護援助論II (慢性期)	2後	2			1	2	3				
	成人看護学実習I	3後	3			1	2	3				
	成人看護学実習II	3後	3			1	2	3				
	老年看護学概論	2前	2			1		1				
	老年看護援助論	3前	2			1		2	2		2	
	老年看護学実習I	3後	2			1		2	2		2	
	老年看護学実習II	3後	2			1		2	2		2	
	小計(9科目)	-	20			2	2	6			2	
VI群 (母性・小児看護学)	母性看護学概論	2前	2			1						
	母性看護援助論	3前	2			1		2				
	母性看護学実習	3後	2			1		2				
	小児看護学概論	2後	2			1						
	小児看護援助論	3前	2			1	1	1		1		
	小児看護学実習	3後	2			1	1	1		1		
小計(6科目)	-	12			2	1	2			1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
Ⅶ群 (精神・在宅・公衆衛生看護学)	精神看護学概論	2後	2			1						1
	精神看護援助論	3前	2			1						
	精神看護学実習	3後	2			1					2	
	在宅看護概論	2後	2			1						
	在宅看護援助論	3前	2			1		1				
	在宅看護実習	4前	2			1		1			1	
	公衆衛生看護学概論	2後	2				1					
	健康教育論	3前	1				1					
	学校保健概論	2後	1					1				
	災害看護学 (災害保健を含む)	4前	1					1				
	小計(10科目)	-	17			2	1	3			3	1
Ⅷ群 (看護の統合と実践)	基礎ゼミ	1前	2			10	5	9	3			
	看護研究Ⅰ (基礎編)	2前	2			10	5	9	2			
	看護研究Ⅱ (応用編)	4通	2			10	5	9	3			
	リスクマネジメント論	3前	1					1				
	国際看護学Ⅰ	2後	1					1				
	国際看護学Ⅱ	3前	1					1				
	看護の統合と実践実習	3後	2			6	5	8	2	5		
小計(7科目)	-	10	1		10	5	9	3	5			
Ⅸ群 (保健師関連)	疫学	2前	2			1						
	公衆衛生看護学 活動展開論	3前	2			1						
	健康相談活動の 理論と実践	3前	2									1
	産業保健論	3前	1			1						
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後	1			1				1		
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4通	4			1						
	公衆衛生看護学特論	4後	1			1						
小計(7科目)	-	13			1	1				1	1	
Ⅹ群 (養護教諭関連)	学校保健活動論	3前	2					1				
	学校保健演習	3後	2					1				
	養護概説	2後	2					1				
	小計(3科目)	-	6					1				
教職に関する科目	教育原理	1前	2									1
	教職概論	1前	2									1
	教育制度論	1後	2									1
	教育心理学	2後	2									1
	教育課程論 (道徳、特別活動を含む)	2後	2									1
	教育方法・技術論	2後	2								1	
	生徒指導論	2前	2									1
	教育相談 (カウンセリングを含む)	1後	2									1
	養護実習 (事前事後指導を含む)	4後	5					1				
	教職実践演習 (養護教諭)	4通	2					1				
小計(10科目)	-	23					1				6	
合計(120科目)	-	110	120		10	5	9	3	9		44	
卒業要件及び履修方法												
共通教育科目から26単位、専門教育科目から98単位計124単位とする。そのうち、必修科目として共通教育科目から8単位、専門教育科目のうち、専門基礎科目から28単位、専門実践科目から64単位、総合科目から10単位を修得すること。(履修科目の登録の上限：60単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
Ⅶ群 (精神・在宅・公衆衛生看護学)	精神看護学概論	2後	2			1						1
	精神看護援助論	3前	2			1						
	精神看護学実習	3後	2			1						1
	在宅看護概論	2後	2			1						
	在宅看護援助論	3前	2			1		2				
	在宅看護実習	4前	2			1		2				
	公衆衛生看護学概論	2後	2				1					
	健康教育論	2後	1				1					
	学校保健概論	2後	1					1				
	災害看護学	4前	1						1			
	小計(10科目)	-	17			4		4	1			1
Ⅷ群 (看護の統合と実践)	基礎ゼミ	1前	2			10	5	8	1			
	看護研究Ⅰ	3前	2			10	5	8	1			
	看護研究Ⅱ	4通	2			10	5	10	1			
	リスクマネジメント論	3前	1					1				
	国際看護学Ⅰ	2前	1					1				
	国際看護学Ⅱ	3後	1					1				
	看護の統合と実践実習	4前	2			5	4	8	1			
小計(7科目)	-	10	1		10	5	8	1				
Ⅸ群 (保健師関連)	疫学	3前	2			1						
	公衆衛生看護学 活動展開論	3前	2				1	1				
	健康相談活動の 理論と実践	3前	2									1
	産業保健論	3前	1			1			1			
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後	1			1			1			
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4通	4			1			1			
	公衆衛生看護学特論	4後	1			1			1			
小計(7科目)	-	13			1	1	1	1			1	
Ⅹ群 (養護教諭関連)	学校保健活動論	3前	2						1			
	学校保健演習	3後	2						1			
	養護概説	2後	2						1			
	小計(3科目)	-	6						1			
教職に関する科目	教育原理	1前	2									1
	教職概論	1前	2									1
	教育制度論	1後	2									1
	教育心理学	2後	2									1
	教育課程論 (道徳、特別活動を含む)	2後	2									1
	教育方法・技術論	2後	2								1	
	生徒指導論	2前	2									1
	教育相談 (カウンセリングを含む)	1後	2									1
	養護実習 (事前事後指導を含む)	4後	5					1				
	教職実践演習 (養護教諭)	4通	2					1				
小計(10科目)	-	23					1				6	
合計(135科目)	-	110	146		10	5	10	1			52	
卒業要件及び履修方法												
共通教育科目から26単位、専門教育科目から98単位計124単位とする。そのうち、必修科目として共通教育科目から8単位、専門教育科目のうち、専門基礎科目から28単位、専門実践科目から64単位、総合科目から10単位を修得すること。(履修科目の登録の上限：60単位(年間))												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
精神の	宗教と人生	1後	2								1
	仏教と現代社会	1後	2								1
	兵庫大学の学びと和	1後	2								2
	兵庫京都学	1後	1								2
	小計(3科目)	-	4								2
コミュニケーション	日本語(読解と表現)	1前	2								2
	英語	1前	2								3
	実用英語 I	1後	2								3
	実用英語 II	2前	2								1
	実用英語 III	2後	2								1
	中国語(初級)	1前	2								1
	中国語(中級)	1後	2								1
	韓国語(初級)	1前	2								2
	韓国語(中級)	1後	2								2
	コンピュータ演習	1前	2								3
	コンピュータグラフィックスの基礎	1後	2								2
	小計(11科目)	-	6	16							15
国際理解	国際理解と宗教 I (キリスト教)	1前	2								1
	国際理解と宗教 II (イスラム教)	1後	2								1
	国際関係論	1後	2								1
	比較文化論	1後	2								1
	小計(4科目)	-	8								4
歴史と文化	歴史学	1前	2								1
	文学	1前	2								1
	芸術	1後	2								1
	色彩とデザイン	1前	2								1
	小計(4科目)	-	8								4
地域に学ぶ	地域文化論	1後	2								1
	建築デザインと地域	1後	2								1
	地域と文化財	1前	2								1
	地域資料を読む	1後	2								1
	小計(4科目)	-	8								2
現代社会を読み解く	哲学	1後	2								1
	法と社会	1後	2								1
	日本国憲法	1前	2								1
	人権の歴史	1前	2								1
	政治学	1前	2								1
	社会学	1前	2								1
	経済学	1前	2								1
	現代社会の理解	1前	2								1
	小計(8科目)	-	16								8
自然と科学	生命倫理学	1後	2								1
	心理学	1前	2								1
	化学	1前	2								1
	生物学	1後	2								1
	身のまわりの科学	1前	2								2
	小計(5科目)	-	10								6
くらしと健康	食と健康	1後	2								1
	健康・スポーツ科学 I (講義)	1後	2								2
	健康・スポーツ科学 II (演習)	1前	2								1
	健康・スポーツ科学 III (演習)	1後	2								1
		小計(4科目)	-	8							
キャリア	私のためのキャリア設計	1前	2								1
	小計(1科目)	-	2								1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
精神の	宗教と人生	1前	2								1
	仏教と現代社会	1後	2								1
	兵庫大学の学びと和	1後	2								2
	兵庫京都学	1後	1								2
	小計(4科目)	-	5								3
コミュニケーション	日本語(読解と表現)	1前	2								2
	英語	1前	2								4
	実用英語 I	1後	2								3
	実用英語 II	2前	2								3
	実用英語 III	2後	2								1
	中国語(初級)	1前	2								1
	中国語(中級)	1後	2								1
	韓国語(初級)	1前	2								1
	韓国語(中級)	1後	2								1
	コンピュータ演習	1前	2								3
	コンピュータグラフィックスの基礎	1後	2								2
	小計(11科目)	-	6	16							14
国際理解	国際理解と宗教 I (キリスト教)	1前	2								1
	国際理解と宗教 II (イスラム教)	1後	2								1
	国際関係論	1後	2								1
	比較文化論	1後	2								1
	小計(4科目)	-	8								4
歴史と文化	歴史学	1前	2								1
	文学	1前	2								1
	色彩とデザイン	1前	2								1
		小計(3科目)	-	6							
地域に学ぶ	地域文化論	1後	2								1
	建築デザインと地域	1後	2								1
	地域と文化財	1後	2								1
	地域資料を読む	1後	2								1
	小計(4科目)	-	8								2
現代社会を読み解く	哲学	1後	2								1
	法と社会	1後	2								1
	日本国憲法	1前	2								1
	人権の歴史	1前	2								1
	政治学	1前	2								1
	社会学	1前	2								1
	経済学	1前	2								1
	現代社会の理解	1前	2								2
	小計(8科目)	-	16								9
自然と科学	生命倫理学	1後	2								1
	心理学	1前	2								1
	化学	1前	2								1
	生物学	1後	2								1
	身のまわりの科学	1前	2								2
	プログラミング入門	1後	2								1
	小計(6科目)	-	12								6
くらしと健康	食と健康	1後	2								1
	健康・スポーツ科学 I (講義)	1後	2			1					1
	健康・スポーツ科学 II (演習)	1前	2								1
	健康・スポーツ科学 III (演習)	1後	2								1
		小計(4科目)	-	8		1					
デゼイン	私のためのキャリア設計	1前	2								1
	入門ボランティア	1通	2								3
	小計(2科目)	-	4								4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
I群 (健康支援と社会保健制度)	社会福祉論	1後	2								1	
	人間関係論 (カウンセリング含む)	2前	2								1	
	家族関係論	1後	2								1	
	精神保健	1後	2								1	
	環境保健学	3前	1			1					1	
	保健医療福祉行政論	2後	2			1					1	
	公衆衛生学 (疫学を含む)	2後	2			1					1	
	保健統計学	2前	2								1	
	小計(8科目)	-	6	9		3						4
	II群 (人体の構造と機能)	生物基礎	1前	2								2
		化学基礎	1前	2								3
形態機能論 I		1前	2			1						
形態機能論 II		1後	2			1						
生化学		1後	2								1	
栄養学(食品学を含む)		1後	2								2	
薬理学		2前	2			1						
免疫・微生物学		1後	2			1						
小計(8科目)		-	14	2		2						7
III群 (疾病の成立及び回復の促進)		臨床病理病態学 I (内科系)	2前	2			1					
	臨床病理病態学 II (内科系)	2後	2			1						
	臨床病理病態学 III (外科系)	2後	2			1						
	臨床病理病態学 IV (周産期・小児科系)	2前	2					1			1	
	小計(4科目)	-	8			2		1				1
IV群 (基礎看護学)	看護学概論	1前	2			1						
	看護理論	1後	1			1						
	ヘルスアセスメント	2前	1			1	1	1			2	
	看護技術論 I (生活援助技術)	1後	2			1	1	1			5	
	看護技術論 II (診療補助技術)	2前	2			1	1	1			5	
	看護技術論 III (看護過程)	2後	1			1	1	1			2	
	基礎看護学実習 I	1後	1			1	1	1			1	
	基礎看護学実習 II	2後	2			1	1	1			1	
	看護教育学	4前	1			1						
	看護倫理	4前	1			1						
	看護管理学	3前	1			1						
小計(11科目)	-	15			3	2	1		1		7	
V群 (成人・老年看護学)	成人看護学概論	2前	2			1	1	1				
	成人看護援助論 I (急性期)	3前	2			1	1	4			1	
	成人看護援助論 II (慢性期)	3前	2			1		4			1	
	成人看護学実習 I	3後	3			1	1	4			1	
	成人看護学実習 II	3後	3			1	1	4			1	
	老年看護学概論	2前	2			1						
	老年看護援助論	3前	2			1					1	
	老年看護学実習 I	3後	2			1					2	
	老年看護学実習 II	3後	2			1					2	
	小計(9科目)	-	20			2	1	5		1		3
VI群 (母性・小児看護学)	母性看護学概論	2前	2			1						
	母性看護援助論	3前	2			1		2			1	
	母性看護学実習	3後	2			1		2			1	
	小児看護学概論	2後	2			1						
	小児看護援助論	3前	2			1					1	
	小児看護学実習	3後	2			1					1	
小計(6科目)	-	12			2		2				2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
I群 (健康支援と社会保健制度)	社会福祉論	1後	2								1	
	人間関係論 (カウンセリング含む)	2前	2								1	
	家族関係論	1後	2					1			1	
	精神保健	1後	2								1	
	環境保健学	3前	1			1					1	
	保健医療福祉行政論	2後	2					1			1	
	公衆衛生学 (疫学を含む)	2後	2					1			1	
	保健統計学	2前	2								1	
	小計(8科目)	-	6	9		2	1					4
	II群 (人体の構造と機能)	生物基礎	1前	2								2
		化学基礎	1前	2								3
形態機能論 I		1前	2			1						
形態機能論 II		1後	2			1						
生化学		1後	2								1	
栄養学(食品学を含む)		1後	2								2	
薬理学		2前	2			1						
免疫・微生物学		1後	2			1						
小計(8科目)		-	14	2		2						6
III群 (疾病の成立及び回復の促進)		臨床病理病態学 I (内科系)	2前	2			1					
	臨床病理病態学 II (内科系)	2後	2			1						
	臨床病理病態学 III (外科系)	2後	2			1						
	臨床病理病態学 IV (周産期・小児科系)	2前	2							2	1	
	小計(4科目)	-	8			2		2				1
IV群 (基礎看護学)	看護学概論	1前	2			1						
	看護理論	1後	1			1						
	ヘルスアセスメント	2前	1			1	1	1			1	
	看護技術論 I (生活援助技術)	1後	2			1	1	1			5	
	看護技術論 II (診療補助技術)	2前	2			1	1	1			5	
	看護技術論 III (看護過程)	2後	1			1	1	1			2	
	基礎看護学実習 I	1後	1			1	1	1			1	
	基礎看護学実習 II	2後	2			1	1	1			1	
	看護教育学	4前	1			1						
	看護倫理	4前	1			1						
	看護管理学	3前	1			1						
小計(11科目)	-	15			3	1	1		1		5	
V群 (成人・老年看護学)	成人看護学概論	2前	2			1	1					
	成人看護援助論 I (急性期)	2後 3前	2			1	1	5				
	成人看護援助論 II (慢性期)	2後 3前	2			1	1	5				
	成人看護学実習 I	3後	3			1	1	5			1	
	成人看護学実習 II	3後	3			1	1	5			1	
	老年看護学概論	2前	2			1						
	老年看護援助論	3前	2			1					1	
	老年看護学実習 I	3後	2			1					2	
	老年看護学実習 II	3後	2			1					2	
	小計(9科目)	-	20			2	1	5		1		3
VI群 (母性・小児看護学)	母性看護学概論	2前	2			1						
	母性看護援助論	3前	2			1		1			1	
	母性看護学実習	3後	2			1		1			1	
	小児看護学概論	2後	2			1						
	小児看護援助論	3前	2			1		1			1	
	小児看護学実習	3後	2			1		1			1	
小計(6科目)	-	12			2		3				1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自	教	准	講	助	
			條	単	授	授	師	教	手	
Ⅵ群 (精神・在宅・公衆衛生看護学) 専門実践科目	精神看護学概論	2後	2		1					
	精神看護援助論	3前	2		1					
	精神看護学実習	3後	2		1				1	
	在宅看護概論	2後	2		1					
	在宅看護援助論	3前	2		2		1			
	在宅看護実習	4前	2		2		1			1
	公衆衛生看護学概論	2後	2		1					
	健康教育論	3前	1		1					
	学校保健概論	2後	1				1			
	災害看護学	4前	1				1			
	小計(10科目)	-	17		5		3			1
	Ⅳ群 (看護の統合と実践) 専門教育科目	基礎ゼミ	1前	2		10	2	9	1	
看護研究Ⅰ		2前	2		13	2	10	1		
看護研究Ⅱ		4通	2		13	2	10	1		
リスクマネジメント論		3前	1				1			
国際看護学Ⅰ		2後	1				1			
国際看護学Ⅱ		3前	1				1			
看護の統合と実践実習		3後	2		6	2	8	1	5	
小計(7科目)		-	10	1	13	2	11	1	5	
Ⅹ群 (保健師関連) 関連科目	疫学	2前	2		1					
	公衆衛生看護学 活動展開論	3前	2		1		1			
	健康相談活動の 理論と実践	3前	2							1
	産業保健論	3前	1				1			
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後	1		1		1			
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4通	4		1		1			
	公衆衛生看護学特論	4後	1		1		1			
	小計(7科目)	-	13		2		1			1
Ⅺ群 (養護教諭関連) 関連科目	学校保健活動論	3前	2				1			
	学校保健演習	3後	2				1			
	養護概説	2後	2				1			
	小計(3科目)	-	6				1			
	教職に関する科目	教育原理	1前	2						
教職概論		1前	2							1
教育制度論		1後	2							1
教育心理学		2後	2							1
教育課程論 (道徳、特別活動を含む)		2後	2							1
教育方法・技術論		2後	2							1
生徒指導論		2前	2							1
教育相談 (カウンセリングを含む)		1後	2							1
教職実践演習 (養護教諭)		4後	2				1			
養護実習 (事前事後指導を含む)		4通	5				1			
小計(10科目)	-	23				1			7	
合計(127科目)	-	110	134		13	2	11	1		57
卒業要件及び履修方法										
共通教育科目から26単位、専門教育科目から98単位計124単位とする。そのうち、必修科目として共通教育科目から8単位、専門教育科目のうち、専門基礎科目から28単位、専門実践科目から64単位、総合科目から10単位を修得すること。(履修科目の登録の上限:60単位(年間))										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自	教	准	講	助	
			條	単	授	授	師	教	手	
Ⅵ群 (精神・在宅・公衆衛生看護学) 専門実践科目	精神看護学概論	2後	2		1					1
	精神看護援助論	3前	2		1					
	精神看護学実習	3後	2		1					1
	在宅看護概論	2後	2		1					
	在宅看護援助論	3前	2		2		1			
	在宅看護実習	4前	2		2		1			1
	公衆衛生看護学概論	2後	2		1					
	健康教育論	2前	1		1					
	学校保健概論	2後	1				1			
	災害看護学	4前	1				1			
	小計(10科目)	-	17		3		4			1
	Ⅳ群 (看護の統合と実践) 専門教育科目	基礎ゼミ	1前	2		8	3	10	1	
看護研究Ⅰ		3前	2		10	3	12	1		
看護研究Ⅱ		4通	2		10	3	12	1		
リスクマネジメント論		3前	1				1			
国際看護学Ⅰ		2前	1				1			
国際看護学Ⅱ		3後	1				1			
看護の統合と実践実習		3後	2		6	2	9	1		
小計(7科目)		-	10	1	10	3	12	1		
Ⅹ群 (保健師関連) 関連科目	疫学	3前	2		1					
	公衆衛生看護学 活動展開論	3前	2				1	1		
	健康相談活動の 理論と実践	3前	2							1
	産業保健論	3前	1				1			
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後	1				1	1		
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4通	4				1	1		
	公衆衛生看護学特論	4後	1				1	1		
	小計(7科目)	-	13		1	1	1			1
Ⅺ群 (養護教諭関連) 関連科目	学校保健活動論	3前	2				1			
	学校保健演習	3後	2				1			
	養護概説	2後	2				1			
	小計(3科目)	-	6				1			
	教職に関する科目	教育原理	1前	2						
教職概論		1前	2							1
教育制度論		1後	2							1
教育心理学		2後	2							1
教育課程論 (道徳、特別活動を含む)		2後	2							1
教育方法・技術論		2後	2							1
生徒指導論		2前	2							1
教育相談 (カウンセリングを含む)		1後	2							1
教職実践演習 (養護教諭)		4後	2				1			
養護実習 (事前事後指導を含む)		4通	5				1			
小計(10科目)	-	23				1			6	
合計(129科目)	-	110	137		10	3	12	1	6	55
卒業要件及び履修方法										
共通教育科目から26単位、専門教育科目から98単位計124単位とする。そのうち、必修科目として共通教育科目から8単位、専門教育科目のうち、専門基礎科目から28単位、専門実践科目から64単位、総合科目から10単位を修得すること。(履修科目の登録の上限:60単位(年間))										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

《共通教育科目》

- ・教育課程充実の理由により、「宗教と人生」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「兵庫大学の学びと和」を科目追加。
- ・担当教員辞退の理由により、「英語」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「実用英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「韓国語（初級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「韓国語（中級）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「コンピュータ演習」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「コンピュータグラフィックスの基礎」を科目追加。
- ・担当教員辞退の理由により、「国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「文学」の兼任教員を変更。
- ・教育内容充実の理由により、「建築デザインと地域」を科目追加。
- ・教育内容充実の理由により、「地域と文化財」を科目追加。
- ・教育内容充実の理由により、「地域資料を読む」を科目追加。
- ・教育内容充実の理由により、「現代社会の理解」を科目追加。
- ・教育内容充実の理由により、「身のまわりの科学」を科目追加。
- ・教育内容充実の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅱ（演習）」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅲ（演習）」の兼任教員を変更。

《専門教育科目》

- ・担当教員辞退の理由により、「生物基礎」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「化学基礎」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退、教育内容充実の理由により、「栄養学（食品学を含む）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・関連する教育内容を十分に理解させた上で履修させるため、配当年次を以下のとおり変更。
 - ・「ヘルスアセスメント」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
 - ・「看護技術論Ⅰ（生活援助技術）」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・関連する科目と連動して履修させるため、配当年次を以下のとおり変更。
 - ・「免疫・微生物学」の配当年次を「2後」から「1後」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「在宅看護援助論」の専任教員等の配置を「教授1」「講師1」から「教授2」「講師1」に変更。
 - ・「在宅実習」の専任教員等の配置を「教授1」「講師1」「助手1」から「教授2」「講師1」「助手1」に変更。
- ・久井准教授退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「保健医療福祉行政論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」「兼1」に変更。
 - ・「公衆衛生看護学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・「健康教育論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・「公衆衛生看護学活動展開論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・「産業保健論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
 - ・「公衆衛生看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「助手1」から「教授1」「講師」に変更。（助手退職に伴う変更を含む）
 - ・「公衆衛生看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」「助手1」から「教授1」「講師」に変更。（助手退職に伴う変更を含む）
 - ・「公衆衛生看護学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・浦本茂子准教授退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「老年看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「助教1」に変更。
 - ・「老年看護援助論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「助教1」から「教授1」「准教授0」「助教1」に変更。
 - ・「老年看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「助教1」「助手2」から「教授1」「准教授0」「助教1」「助手2」に変更。
 - ・「老年看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「助教1」「助手2」から「教授1」「准教授0」「助教1」「助手2」に変更。
- ・小島賢子准教授退職の理由により、森田寛子教授が就任、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「小児看護学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・「小児看護援助論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・「小児看護学実習」の専任教員等の配置を「准教授1」「助手1」から「教授1」「助手1」に変更。
- ・掛川静代助教退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「看護技術論Ⅰ（生活援助技術）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手2」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助教0」「助手5」に変更。
 - ・「看護技術論Ⅱ（診療補助技術）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手2」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助教0」「助手5」に変更。
 - ・「看護技術論Ⅲ（看護過程）」の専任教員等の配置の「助教1」を「助教0」に変更。
- ・廣田真里助教の昇任の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教3」「助手9」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手7」に変更。（掛川助教退職、助手辞退に伴う変更を含む）
 - ・「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教3」「助手9」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手7」に変更。（掛川助教退職、助手辞退に伴う変更を含む）
 - ・「成人看護援助論Ⅰ（急性期）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師3」「助教1」「助手1」から「教授1」「准教授1」「講師4」「助教0」「助手1」に変更。
 - ・「成人看護援助論Ⅱ（慢性期）」の専任教員等の配置を「教授1」「講師3」「助教1」「助手1」から「教授1」「講師4」「助教0」「助手1」に変更。
 - ・「成人看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師3」「助教1」「助手1」から「教授1」「准教授1」「講師4」「助教0」「助手1」に変更。
 - ・「成人看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師3」「助教1」「助手1」から「教授1」「准教授1」「講師4」「助教0」「助手1」に変更。
- ・新規採用及び担当教員辞退の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「基礎ゼミ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授5」「講師9」「助教3」から「教授10」「准教授2」「講師9」「助教1」に変更。
 - ・「看護研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授5」「講師9」「助教2」から「教授13」「准教授2」「講師10」「助教1」に変更。
 - ・「看護研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授5」「講師9」「助教3」から「教授13」「准教授2」「講師10」「助教1」に変更。
 - ・「看護の統合と実践実習」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授5」「講師8」「助教2」「助手5」から「教授6」「准教授2」「講師8」「助教1」「助手5」に変更。
- ・科目名称表現方法統一の理由により、授業科目の名称を以下のとおり変更。
 - ・「公衆衛生学（疫学含）」→「公衆衛生学（疫学を含む）」
 - ・「看護技術論Ⅰ（生活技術援助）」→「看護技術論Ⅰ（生活援助技術）」
 - ・「看護技術論Ⅱ（診療技術援助）」→「看護技術論Ⅱ（診療補助技術）」
 - ・「成人看護援助論Ⅰ（生命危機状態にある人）」→「成人看護援助論Ⅰ（慢性期）」
 - ・「成人看護援助論Ⅱ（常態の維持・増進が困難な人）」→「成人看護援助論Ⅱ（慢性期）」
 - ・「災害看護学（災害保健を含む）」→「災害看護学」
 - ・「看護研究Ⅰ（基礎編）」→「看護研究Ⅰ」
 - ・「看護研究Ⅱ（応用編）」→「看護研究Ⅱ」
- ・助手退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「精神看護学実習」の専任教員等の配置を「教授1」「助手2」から「教授1」「助手1」に変更。

《教職に関する科目》

- ・担当教員辞退の理由により、「教育原理」の兼任教員を変更。

【平成30年度】

《共通教育科目》

- ・教育課程充実の理由により、「宗教と人生」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「兵大京都学」を追加。
- ・教育内容充実の理由により、「英語」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「実用英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・履修対象者減の理由により、「韓国語（初級）」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・履修対象者減の理由により、「韓国語（中級）」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「芸術」を削除。
- ・教育課程充実の理由により、「地域と文化財」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「現代社会の理解」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「プログラミング入門」の科目を追加。
- ・担当教員辞退の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）」の教員配置を「兼1」から「教授1」「兼1」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「入門ボランティア」を追加。

《専門教育科目》

- ・教育内容充実の理由により、「家族関係論」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「成人看護援助論Ⅱ（慢性期）」の専任教員等の配置を「教授1」「講師1」から「教授1」「准教授1」「講師1」に変更。
- ・教員異動の理由により、「環境保健学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「臨床病理病態学Ⅳ（周産期・小児科系）」の専任教員等の配置を「講師1」「兼1」から「講師2」「兼1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「成人看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師4」「助教1」から「教授1」「准教授1」「講師5」「助教1」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「精神保健」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「保健医療福祉行政論」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「看護理論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「看護倫理」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「精神看護学概論」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「健康相談活動の理論と実践」の兼任教員を変更。
- ・関連する教育内容を十分に理解させた上で履修させるため、配当年次を以下のとおり変更。
 - ・「看護技術論Ⅲ（看護過程）」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
 - ・「成人看護援助論Ⅰ（急性期）」の配当年次を「3前」から「2後・3前」に変更。
 - ・「成人看護援助論Ⅱ（慢性期）」の配当年次を「3前」から「2後・3前」に変更。
 - ・「看護倫理」の配当年次を「4前」から「2前」に変更。
 - ・「健康教育論」の配当年次を「3前」から「2前」に変更。
 - ・「看護研究Ⅰ」の配当年次を「2前」から「3前」に変更。
 - ・「国際看護学Ⅰ」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
 - ・「国際看護学Ⅱ」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
 - ・「疫学」の配当年次を「2前」から「3前」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「看護管理学」の配当年次を「3前」から「4前」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「看護管理学」の兼任・兼任教員が0から1に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「成人看護援助論Ⅰ（急性期）」の配当年次を「3前」から「2前」に変更。
- ・小野晴子教授定年退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「看護管理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
 - ・「老年看護学概論」「老年看護援助論」「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を変更し、後任として肥後すみ子教授が就任。
- ・新田幸子教授定年退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「看護教育学」の専任教員等の配置を新田幸子教授から、肥後すみ子教授に変更。
 - ・「在宅看護学」の専任教員を新田幸子教授から高見千恵教授に変更。
 - ・「在宅看護援助論」の専任教員等の配置を「教授2」「講師1」から「教授1」「講師1」に変更。
 - ・「在宅看護実習」の専任教員等の配置を「教授2」「講師1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・福川京子教授退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「保健医療福祉行政論」の専任教員等の配置を福川京子教授から尾崎八代准教授に変更。
 - ・「公衆衛生看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」「講師1」に変更。
 - ・「公衆衛生看護学活動展開論」の専任教員等の配置を「教授1」「講師1」から「准教授1」「講師1」に変更。
 - ・「公衆衛生看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「講師1」から「准教授1」「講師1」に変更。
 - ・「公衆衛生看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「講師1」から「准教授1」「講師1」に変更。
 - ・「公衆衛生看護学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」「講師1」に変更。
- ・柴田順子講師退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「学校保健概論」「学校保健活動論」「学校保健学」「養護概説」「教職実践演習（養護教諭）」「養護実習（事前事後指導を含む）」及び専任教員等の配置を変更し、後任として細川愛美講師が就任。
 - ・西原かおり助教退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手7」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助教5」に変更。（助手辞退を含む）
 - ・「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手7」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助教5」に変更。（助手辞退を含む）
 - ・「老年看護援助論」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」「助手1」に変更。
 - ・「老年看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」「助手2」から「教授1」「助手2」に変更。
 - ・「老年看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」「助手2」から「教授1」「助手2」に変更。
- ・新規採用及び担当教員辞退の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「基礎ゼミ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授2」「講師9」「助教1」から「教授8」「准教授3」「講師10」「助教1」に変更。
 - ・「看護研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授13」「准教授2」「講師10」「助教1」から「教授10」「准教授3」「講師12」「助教1」に変更。
 - ・「看護研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授13」「准教授2」「講師10」「助教1」から「教授10」「准教授3」「講師12」「助教1」に変更。
 - ・「看護の統合と実践実習」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授2」「講師8」「助教1」「助手5」から「教授6」「准教授2」「講師9」「助教1」に変更。

《教職に関する科目》

- ・担当教員辞退の理由により、「教職概論」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「教育課程論（道徳・特別活動を含む）」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「生徒指導論」の兼任教員を変更。
- ・柴田順子講師退職の理由により、「教職実践演習（養護教諭）」「養護実習（事前事後指導を含む）」の専任教員等の配置を変更し、後任として細川愛美講師が就任。

【令和元年度】

《共通教育科目》

- ・教育内容充実の理由により、「地域と仏教」を科目追加。
- ・担当教員辞退の理由により、「実用英語Ⅰ」の教員の配置を「教授2」「兼3」から「教授2」「兼2」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「実用英語Ⅱ」の教員の配置を「教授2」「兼3」から「教授2」「兼2」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「文学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「地域と文化財」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「日本の伝統文化「将棋」を学ぶ」を科目追加。
- ・教育課程充実の理由により、「哲学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「現代社会の理解」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「生物学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅱ（演習）」の教員の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅲ（演習）」の教員の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「私のためのキャリア設計」の配当年次を「1前」から「1前」「1後」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「私のためのキャリア設計」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「ヒューマンサービスとマネジメント」を科目追加。

《専門教育科目》

- ・教育内容充実の理由により、「保健医療福祉行政論」の教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・科目名称表現方法統一及び教育課程充実の理由により、「看護教育学」を「総合看護」に名称変更、配当年次を「4前」から「4後」に変更。
 - ・教員辞退の理由により、「看護倫理」の教員の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 - ・教育課程充実の理由により、「看護管理学」の配当年次を「3前」から「4前」に変更。
 - ・教育内容充実の理由により、「成人看護学概論」の教員の配置を「教授1」「准教授1」から「教授1」「准教授2」に変更。
 - ・教育内容充実の理由により、「老年看護学概論」の教員の配置を「教授1」から「教授1」「講師1」に変更。
 - ・教育内容充実の理由により、「母性看護援助論」の教員の配置を「教授1」「講師2」「助手1」から「教授1」「講師2」に変更。
 - ・教員辞退、採用の理由により、「母性看護学実習」の教員の配置を「教授1」「講師1」「助手1」から「教授1」「講師2」に変更。
 - ・教育内容充実の理由により、「小児看護援助論」「小児看護学実習」の教員の配置を「教授1」「講師1」「助手1」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助手1」に変更。
 - ・教育内容充実の理由により、「在宅看護援助論」の教員の配置を「教授1」「講師1」から「教授1」「講師2」に変更。
 - ・教育内容充実の理由により、「在宅看護実習」の教員の配置を「教授1」「講師1」から「教授1」「講師2」に変更。
 - ・教員辞退の理由により、「公衆衛生看護学概論」の教員配置を「准教授1」「講師1」から「教授1」に変更。
 - ・教育課程充実の理由により、「健康教育学」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
 - ・教育課程充実の理由により、「看護の統合と実践演習」の配当年次を「3後」から「4前」に変更。
 - ・教育内容充実の理由により、「特別支援教育論」を科目追加。
 - ・教育内容充実の理由により、「総合看護」の担当教員を宮島多映子教授から柴山健三教授に変更。
 - ・教育内容充実の理由により、「保健医療福祉行政論」の担当教員を尾崎八代准教授から三徳和子教授に変更。
 - ・教育内容充実の理由により、「公衆衛生看護学概論」の担当教員を尾崎八代准教授、石井久仁子講師から三徳和子教授に変更。
 - ・教育内容充実の理由により、「小児看護援助論」「小児看護学実習」の担当教員に根本順子准教授を追加。
 - ・西山忠博講師の退職の理由により、教員の配置を以下のとおり変更。
 - ・「ヘルスアセスメント」の教員の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「教授1」「准教授1」に変更。
 - ・「看護技術論Ⅰ（生活援助技術）」の教員の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「教授1」「准教授1」に変更。
 - ・「看護技術論Ⅱ（診療補助技術）」の教員の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「教授1」「准教授1」に変更。
 - ・「看護技術論Ⅲ（看護過程）」の教員の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「教授1」「准教授1」に変更。
 - ・「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」の教員の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手1」「助手5」から「教授1」「准教授1」「助手4」に変更。
 - ・肥後すみ子教授の退職の理由により、教員の配置を以下のとおり変更。
 - ・「総合看護」の教員の配置を、肥後すみ子教授から柴山健三教授に変更。
 - ・「老年看護学概論」の教員の配置を肥後すみ子教授から高見千恵教授に変更。
 - ・「老年看護援助論」の教員配置を「教授1」「助手1」から「講師2」「助手2」に変更。
 - ・「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の教員配置を「教授1」「助手2」から「講師2」「助手2」に変更。
 - ・石田宜子教授の退職の理由により、教員の配置を以下のとおり変更。
 - ・「看護倫理」の教員配置を、石田宜子教授から石井俊行准教授に変更。
 - ・「成人看護学概論」「成人看護援助論Ⅰ（急性期）」「成人看護援助論Ⅱ（慢性期）」「成人看護学実習Ⅰ」「成人看護学実習Ⅱ」の教員配置を柴山健三教授に変更。
 - ・「健康教育学」の教員配置を伊藤純教授に変更。
 - ・大塚千秋講師、和田世講師、髙野孝子助教の退職の理由により、教員の配置を以下のとおり変更。
 - ・「成人看護援助論Ⅰ（急性期）」「成人看護援助論Ⅱ（慢性期）」「成人看護学実習Ⅰ」「成人看護学実習Ⅱ」の教員配置を石井准教授に変更。
 - ・「成人看護援助論Ⅰ（急性期）」「成人看護援助論Ⅱ（慢性期）」の教員配置を「教授1」「准教授1」「講師5」から「教授1」「准教授2」「講師3」に変更。
 - ・「成人看護学実習Ⅰ」「成人看護学実習Ⅱ」の教員の配置を「教授1」「准教授1」「講師5」「助教1」から「教授1」「准教授2」「講師3」に変更。
 - ・天本都講師の退職の理由により、教員の配置を以下のとおり変更。
 - ・「臨床病理病態学Ⅳ（周産期・小児科系）」「母性看護学実習」の教員配置を、天本都講師から小島光華講師に変更。
 - ・藤後栄一助教の昇任の理由により、教員の配置を以下のとおり変更。
 - ・「精神看護学概論」の教員配置を「教授1」から「教授1」「兼任1」から「教授1」「助教1」「兼任1」に変更。
 - ・「精神看護援助論」の教員配置を「教授1」から「教授1」「助教1」に変更。
 - ・「精神看護学実習」の教員配置を「教授1」「助手1」から「教授1」「助教1」に変更。
 - ・新規採用及び担当教員辞退の理由により、教員の配置を以下のとおり変更。
 - ・「基礎ゼミ」の教員の配置を「教授8」「准教授3」「講師10」「助教1」から「教授10」「准教授5」「講師8」「助教1」に変更。
 - ・「看護研究Ⅰ」の教員の配置を「教授10」「准教授3」「講師12」「助教1」から「教授10」「准教授5」「講師10」「助教1」に変更。
 - ・「看護研究Ⅱ」の教員の配置を「教授10」「准教授3」「講師12」「助教1」から「教授10」「准教授5」「講師10」「助教1」に変更。
 - ・「看護の統合と実践実習」の教員の配置を「教授9」「准教授2」「講師9」「助教1」から「教授9」「准教授3」「講師9」「助教1」に変更。
- 《教育の基礎的理解に関する科目》
- ・教職課程認定による科目編成の変更、「教職に関する科目変更」の科目区分を、「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳・総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」に変更。
 - ・教職課程の再課程認定による「特別支援教育論」を科目追加。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
60	60	0	120	60	72	0	135	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
				[]	[13]	[]	[2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	人間関係論 (カウンセリング含む)	2	2	専門	選択	履修登録者が少ないため 代替措置なし
2	生化学	2	1	専門	選択	履修登録者が少ないため 代替措置なし
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	芸術	2	1	一般	選択	共通教育科目のカリキュラム改正による、代替措置なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 「生化学」「人間関係論（カウンセリングを含む）」について履修登録者がいないため、未開講とした。授業科目は選択科目であるため、学生の履修等への影響はない。 「芸術」は兼任講師辞退に伴い科目を廃止した。共通教育科目の科目区分である歴史と文化に属する選択科目であり、学生の履修等への影響はない。</p> <p>「学生への周知方法」 学生に対しては、学期開始時期に実施するオリエンテーション期間内において説明を行った。</p>
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{3}{120} = \boxed{2.5} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	兵庫大学短期大学部と 共用		
	校舎敷地	0 m ²	72,973 73,964 m ²	0 m ²	72,973 73,964 m ²			
	運動場用地	0 m ²	9,600 m ²	0 m ²	9,600 m ²			
	小 計	0 m ²	82,573 83,564 m ²	0 m ²	82,573 83,564 m ²			
	そ の 他	0 m ²	10,706 9,715 m ²	0 m ²	10,706 9,715 m ²			
	合 計	0 m ²	93,279 m ²	0 m ²	93,279 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	兵庫大学短期大学部と 共用 使用教室精査のため(元)			
	1333.93m ² 1,795m ² 2,563m ²	27951.72m ² 27,297m ² 28,301m ²	1773.35m ² 1,967m ²	31,059m ² 32,831m ²				
	(1333.93m ²)	(27951.72m ²)	(1773.35m ²)	(31,059m ²)				
	(1,795m ²)	(27,297m ²)	(1,967m ²)	(32,831m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室 27室	演 習 室 26室	実験実習室 30室	情報処理学習施設 4室 (補助職員 3人)	語学学習施設 室 (補助職員 人)			
		新設学部等の名称		室 数		平成30年4月 専任教授1名、准教授1 名を新規採用のため (30) 教員組織の変更に伴う配 置変更(元)		
		看護学部 看護学科		27 26 25 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部単位での特定不能の ため、大学全体の数 図書充実のため(30) 図書見直しのため(元)
	看護学部	54,535 [6,833] 64,283 [6,819] 63,667 [6,741] 54,535 [6,833] 64,283 [6,819] 63,667 [6,741]	1,683 [213] 1,756 [256] (1,683 [216]) (1,706 [216])	3 [1] 21 [18] (3 [1]) (0 [6])	5,985 6,978 (5,985) (5,972)	6,182 5,808 (6,182) (5,808)	288 230 (288) (230)	
	計	54,535 [6,833] 64,283 [6,819] 63,667 [6,741] 54,535 [6,833] 64,283 [6,819] 63,667 [6,741]	1,683 [213] 1,756 [256] (1,683 [216]) (1,706 [216])	3 [1] 21 [18] (3 [1]) (0 [6])	5,985 6,978 (5,985) (5,972)	6,182 5,808 (6,182) (5,808)	288 230 (288) (230)	
(6) 図 書 館	面 積	1,829m ²	閱 覧 座 席 数	270	収 納 可 能 冊 数	151,200		
	面 積	2,286m ²	体育館以外のスポーツ施設の概要 テ ニ ス コ ー ト 4 面 運 動 場					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持 方法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	480千円	480千円	図書購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円
	共 同 研 究 費 等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第1年次 1,900千円	第2年次 1,550千円	第3年次 1,550千円	第4年次 1,550千円	第5年次 一千円	第6年次 一千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、入学検定料、雑収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		兵庫 大 学								備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度		
≪AC対象学部等≫ 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	4	120	3年次2	484	学士(現代ビジネス)	0.49	令和2年度	平成28年度	兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地	令和2年度より入学定員減(△20)	
看護学部 看護学科	4	90	-	360	学士(看護学)	1.14	-	平成29年度			
≪既設学部≫ 経済情報学部 経済情報学科	4	-	-	-	学士(経済情報)	-	-	平成7年度			平成28年より学生募集停止
健康科学部 栄養マネジメント学科	4	80	3年次5	345	学士(栄養学)	0.63	-	平成13年度			平成31年度より3年次編入学定員減(△15)
看護学科	4	40	-	160	学士(健康科学)	0.94	-	平成13年度			
看護学科	4	-	-	-	学士(看護学)	-	-	平成18年度			平成29年より学生募集停止
生涯福祉学部 社会福祉学科	4	30	-	120	学士(社会福祉学)	0.89	-	平成20年度			
こども福祉学科	4	50	3年次5	210	学士(こども福祉)	0.90	-	平成25年度			
大学全体	4	410	12	1679	-	0.78	-	-			
大学の名称	兵庫 大 学 大 学 院										備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度		
経済情報研究科 経済情報専攻	2	20	-	40	修士(経済情報)	0.05	-	平成11年度	兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地	令和2年度より学生募集停止	
大学院全体	2	20	-	40	-	0.05	-	-			
大学の名称	兵庫 大 学 短 期 大 学 部								備 考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度		
保育科第一部	2	100	-	200	短期大学士(保育)	0.90	-	昭和32年度	兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地		
保育科第三部	3	80	-	240	短期大学士(保育)	1.06	-	昭和46年度			
短大全体	2・3	180	-	440	-	0.98	-	-			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

		【平成29年度】		【平成30年度】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
専	教授	長尾 光城 (64) <平成29年4月>	長尾 光城 (65) <平成29年4月>	長尾 光城 (66) <平成29年4月>	長尾 光城 (67) <平成29年4月>	長尾 光城 (67) <平成29年4月>	長尾 光城 (67) <平成29年4月>
		公衆衛生学(疫学含) 臨床病理病態学Ⅲ (外科系)	健康・スポーツ科学Ⅰ(講義) 公衆衛生学(疫学を含む) 臨床病理病態学Ⅲ (外科系)	健康・スポーツ科学Ⅰ(講義) 公衆衛生学(疫学を含む) 臨床病理病態学Ⅲ (外科系)	健康・スポーツ科学Ⅰ(講義) 公衆衛生学(疫学を含む) 臨床病理病態学Ⅲ (外科系)	健康・スポーツ科学Ⅰ(講義) 公衆衛生学(疫学を含む) 臨床病理病態学Ⅲ (外科系)	健康・スポーツ科学Ⅰ(講義) 公衆衛生学(疫学を含む) 臨床病理病態学Ⅲ (外科系)
		基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編)	基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ	基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ	基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ	基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ	基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ
専	教授	小野 晴子 (69) <平成29年4月>	小野 晴子 (70) <平成29年4月>				
		看護管理学 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ	看護管理学 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ				
		基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習				
専	教授	長尾 憲樹 (66) <平成29年4月>	長尾 憲樹 (67) <平成29年4月>	兼任 教授	長尾 憲樹 (68) <平成29年4月>	兼任 教授	長尾 憲樹 (69) <平成29年4月>
		環境保健学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編)	環境保健学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ	環境保健学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ	環境保健学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ	環境保健学	環境保健学
専	教授	新田幸子 (64) <平成29年4月>	新田幸子 (65) <平成29年4月>				
		看護教育学 在宅看護概論 在宅看護援助論 在宅看護実習	看護教育学 在宅看護概論 在宅看護援助論 在宅看護実習				
		基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習				
専	教授	富安 俊子 (59) <平成29年4月>	富安 俊子 (60) <平成29年4月>	専	富安 俊子 (61) <平成29年4月>	専	富安 俊子 (62) <平成29年4月>
		母性看護学概論 母性看護援助論 母性看護学実習	母性看護学概論 母性看護援助論 母性看護学実習	母性看護学概論 母性看護学実習	母性看護学概論 母性看護学実習	母性看護学概論 母性看護援助論 母性看護学実習	母性看護学概論 母性看護援助論 母性看護学実習
		基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習
専	教授	加藤 知可子 (56) <平成29年4月>	加藤 知可子 (57) <平成29年4月>	専	加藤 知可子 (58) <平成29年4月>	専	加藤 知可子 (59) <平成29年4月>
		精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護学実習	精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護学実習	精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護学実習	精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護学実習	精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護学実習	精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護学実習
		基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習
専	教授	石田 宣子 (55) <平成29年4月>	石田 宣子 (56) <平成29年4月>	専	石田 宣子 (57) <平成29年4月>		
		成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ (生命危機状態にある人) 成人看護援助論Ⅱ (常態の維持・増進が困難な人) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ	成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ	看護倫理 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 健康教育論	看護倫理 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 健康教育論		
		基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習		
専	教授	兒玉 拓 (50) <平成29年4月>	兒玉 拓 (51) <平成29年4月>	専	兒玉 拓 (52) <平成29年4月>	専	兒玉 拓 (53) <平成29年4月>
		薬理学 免疫・微生物学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編)	薬理学 免疫・微生物学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ	薬理学 免疫・微生物学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ	薬理学 免疫・微生物学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ	薬理学 免疫・微生物学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ	薬理学 免疫・微生物学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	宮島 多映子 (47) <平成29年4月>	専	教授	宮島 多映子 (48) <平成29年4月>	専	教授	宮島 多映子 (49) <平成29年4月>	専	教授	宮島 多映子 (50) <平成29年4月>
		看護学概論 看護理論 ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活技術援助) 看護技術論Ⅱ (診療技術援助) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習			看護学概論 看護理論 ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活援助技術) 看護技術論Ⅱ (診療補助技術) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			看護学概論 看護理論 ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活援助技術) 看護技術論Ⅱ (診療補助技術) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			看護学概論 ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活援助技術) 看護技術論Ⅱ (診療補助技術) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習
専	教授	伊藤 純 (42) <平成29年4月>	専	教授	伊藤 純 (43) <平成29年4月>	専	教授	伊藤 純 (44) <平成29年4月>	専	教授	伊藤 純 (45) <平成29年4月>
		形態機能論Ⅰ 形態機能論Ⅱ 臨床病理病態学Ⅰ (内科系) 臨床病理病態学Ⅱ (内科系) 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 疫学			形態機能論Ⅰ 形態機能論Ⅱ 臨床病理病態学Ⅰ (内科系) 臨床病理病態学Ⅱ (内科系) 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 疫学			形態機能論Ⅰ 形態機能論Ⅱ 臨床病理病態学Ⅰ (内科系) 臨床病理病態学Ⅱ (内科系) 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 疫学			形態機能論Ⅰ 形態機能論Ⅱ 臨床病理病態学Ⅰ (内科系) 臨床病理病態学Ⅱ (内科系) 基礎ゼミ 健康教育論 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 疫学
専	教授	森田 嘉子 (55) <平成29年4月>	専	教授	森田 嘉子 (56) <平成29年4月>	専	教授	森田 嘉子 (57) <平成29年4月>	専	教授	森田 嘉子 (57) <平成29年4月>
		小児看護学概論 小児看護援助論 小児看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			小児看護学概論 小児看護援助論 小児看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			小児看護学概論 小児看護援助論 小児看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			小児看護学概論 小児看護援助論 小児看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習
専	教授	福川 京子 (53) <平成29年4月>	専	教授	福川 京子 (53) <平成29年4月>	専	教授	福川 京子 (53) <平成29年4月>	専	教授	福川 京子 (53) <平成29年4月>
		保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学概論 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習 公衆衛生看護学活動展開論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護学特論			保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学概論 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習 公衆衛生看護学活動展開論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護学特論			保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学概論 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習 公衆衛生看護学活動展開論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護学特論			保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学概論 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習 公衆衛生看護学活動展開論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護学特論
専	教授	高見 千恵 (49) <平成29年4月>	専	教授	高見 千恵 (50) <平成29年4月>	専	教授	高見 千恵 (50) <平成29年4月>	専	教授	高見 千恵 (51) <平成29年4月>
		在宅看護援助論 在宅看護実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ			在宅看護援助論 在宅看護実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ			在宅看護援助論 在宅看護実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ			在宅看護援助論 在宅看護実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ
専	教授	肥後 すみ子 (65) <平成30年4月>	専	教授	肥後 すみ子 (65) <平成30年4月>	専	教授	肥後 すみ子 (65) <平成30年4月>	専	教授	肥後 すみ子 (65) <平成30年4月>
		看護教育学 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			看護教育学 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			看護教育学 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			看護教育学 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習
専	教授	三徳 和子 (70) <平成31年4月>	専	教授	三徳 和子 (70) <平成31年4月>	専	教授	三徳 和子 (70) <平成31年4月>	専	教授	三徳 和子 (70) <平成31年4月>
		保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学概論 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ			保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学概論 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ			保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学概論 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ			保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学概論 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年 齢)	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年 齢)	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年 齢)	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年 齢)	
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
										専任	兼担	兼三 (60) <平成31年4月> 総合看護 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ(急性期) 成人看護援助論Ⅱ(慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習
専	准教授	小島 賢子 (60) <平成29年4月>										
		小児看護学概論 小児看護援助論 小児看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習										
専	准教授	瀬本 茂子 (57) <平成29年4月>										
		老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習										
専	准教授	白神 佐知子 (54) <平成29年4月>	専	准教授	白神 佐知子 (55) <平成29年4月>	専	准教授	白神 佐知子 (56) <平成29年4月>	専	准教授	白神 佐知子 (57) <平成29年4月>	
		看護倫理 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ (生命危機状態にある人) 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習			看護倫理 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	
専	准教授	久井 志保 (51) <平成29年4月>										
		保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学概論 健康教育論 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習 公衆衛生看護学活動展開論 産業保健論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護学特論										
専	准教授	大楠 由佳 (49) <平成29年4月>	専	准教授	大楠 由佳 (50) <平成29年4月>	専	准教授	大楠 由佳 (51) <平成29年4月>	専	准教授	大楠 由佳 (52) <平成29年4月>	
		ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活技術援助) 看護技術論Ⅱ (診療技術援助) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習			ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活援助技術) 看護技術論Ⅱ (診療補助技術) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活援助技術) 看護技術論Ⅱ (診療補助技術) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活援助技術) 看護技術論Ⅱ (診療補助技術) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	
						専任	准教授	尾崎 八代 (63) <平成30年4月>	専任	准教授	尾崎 八代 (64) <平成30年4月>	
								保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学概論 基礎ゼミ 公衆衛生看護学活動展開論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護学特論			基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 公衆衛生看護学活動展開論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護学特論	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
											石井 俊行 (60) <平成31年4月> 看護理論 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ(急性期) 成人看護援助論Ⅱ(慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習
											根本 順子 (51) <平成31年4月> 小児看護援助論 小児看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習
専	講師	柴田 順子 (63) <平成29年4月>	専	講師	柴田 順子 (64) <平成29年4月>	兼任	講師	柴田 順子 (65) <平成29年4月>	兼任	講師	柴田 順子 (66) <平成29年4月>
		学校保健概論 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編)			学校保健概論 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ			健康相談活動の理論と実践			健康相談活動の理論と実践
		学校保健活動論 学校保健演習 養護概説 教職実践演習 (養護教諭) 養護実習 (事前事後指導を含む)			学校保健活動論 学校保健演習 養護概説 教職実践演習 (養護教諭) 養護実習 (事前事後指導を含む)						
専	講師	天本 都 (62) <平成29年4月>	専	講師	天本 都 (63) <平成29年4月>	専	講師	天本 都 (64) <平成29年4月>			
		母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習			母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			臨床病理学Ⅳ (周産期・小児科系) 母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			
専	講師	塩 霧都恵 (61) <平成29年4月>	専	講師	塩 霧都恵 (62) <平成29年4月>	専	講師	塩 霧都恵 (63) <平成29年4月>	専	講師	塩 霧都恵 (64) <平成29年4月>
		成人看護援助論Ⅰ (生命危機状態にある人) 成人看護援助論Ⅱ (常態の維持・増進が困難な人) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) リスクマネジメント論 看護の統合と実践実習			成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ リスクマネジメント論 看護の統合と実践実習			成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ リスクマネジメント論 看護の統合と実践実習			成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 老年看護援助論 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ リスクマネジメント論 看護の統合と実践実習
専	講師	東 久子 (55) <平成29年4月>	専	講師	東 久子 (56) <平成29年4月>	専	講師	東 久子 (57) <平成29年4月>	専	講師	東 久子 (58) <平成29年4月>
		在宅看護援助論 在宅看護実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習			在宅看護援助論 在宅看護実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			在宅看護援助論 在宅看護実習 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ			在宅看護援助論 在宅看護実習 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習
専	講師	西山 忠博 (51) <平成29年4月>	専	講師	西山 忠博 (52) <平成29年4月>	専	講師	西山 忠博 (53) <平成29年4月>	専	講師	
		ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活援助技術) 看護技術論Ⅱ (診療補助技術) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習			ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活援助技術) 看護技術論Ⅱ (診療補助技術) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活援助技術) 看護技術論Ⅱ (診療補助技術) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	中村 朋子 (51) <平成29年4月>	専	講師	中村 朋子 (52) <平成29年4月>	専	講師	中村 朋子 (53) <平成29年4月>	専	講師	中村 朋子 (54) <平成29年4月>
		臨床病理病態学Ⅳ (周産期・小児科系) 母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習			臨床病理病態学Ⅳ (周産期・小児科系) 母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			臨床病理病態学Ⅳ (周産期・小児科系) 母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			臨床病理病態学Ⅳ (周産期・小児科系) 母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習
専	講師	大塚 千秋 (50) <平成29年4月>	専	講師	大塚 千秋 (51) <平成29年4月>	専	講師	大塚 千秋 (52) <平成29年4月>			
		成人看護援助論Ⅰ (生命危機状態にある人) 成人看護援助論Ⅱ (常態の維持・増進が困難な人) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習			成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ (急性期) (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ (急性期) (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			
専	講師	和田 知世 (47) <平成29年4月>	専	講師	和田 知世 (48) <平成29年4月>	専	講師	和田 知世 (49) <平成29年4月>			
		成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ (生命危機状態にある人) 成人看護援助論Ⅱ (常態の維持・増進が困難な人) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習			成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ (急性期) (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ (急性期) (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			
専	講師	大植 崇 (39) <平成29年4月>	専	講師	大植 崇 (40) <平成29年4月>	専	講師	大植 崇 (41) <平成29年4月>	専	講師	大植 崇 (42) <平成29年4月>
		災害看護学 (災害保健学を含む) 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 国際看護学Ⅰ 国際看護学Ⅱ 看護の統合と実践実習			災害看護学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 国際看護学Ⅰ 国際看護学Ⅱ 看護の統合と実践実習			成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ (急性期) (慢性期) (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 災害看護学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 国際看護学Ⅰ 国際看護学Ⅱ 看護の統合と実践実習			成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ (急性期) (慢性期) (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 災害看護学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 国際看護学Ⅰ 国際看護学Ⅱ 看護の統合と実践実習
専	助教	西原 かおり (53) <平成29年4月>	専	助教	西原 かおり (54) <平成29年4月>						
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護援助論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習			基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護援助論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習						
			専	講師	石井 久仁子 (54) <平成29年4月>	専	講師	石井 久仁子 (55) <平成29年4月>	専	講師	石井 久仁子 (56) <平成29年4月>
					公衆衛生看護学活動展開論 産業保健論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ			基礎ゼミ 公衆衛生看護学活動展開論 公衆衛生看護学概論 産業保健論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護学特論			基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 公衆衛生看護学活動展開論 産業保健論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護学特論
						専	講師	細川 愛美 (61) <平成30年4月>	専	講師	細川 愛美 (62) <平成30年4月>
								学校保健概論 学校保健活動論 学校保健演習 業種概説 教職実践演習(養護教諭) 業種実習 (事前事後指導を含む)			学校保健概論 学校保健活動論 学校保健演習 業種概説 教職実践演習(養護教諭) 業種実習 (事前事後指導を含む)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								小島 光華 (50) <平成30年4月> 臨床病理学IV (周産期・小児科系) 母性看護援助論 母性看護学実習 小児看護援助論 小児看護学実習 基礎ゼミ 看護研究 I 看護研究 II 看護の統合と実践実習
専	助教	掛川 静代 (34) <平成29年4月> ヘルスアセスメント 看護技術論 I (生活技術援助) 看護技術論 II (診療技術援助) 看護技術論 III (看護過程) 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 基礎ゼミ 看護研究 I (基礎編) 看護研究 II (応用編) 看護の統合と実践実習						
専	助教	廣田 真里 (32) <平成29年4月> 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 成人看護援助論 I (生命危機状態にある人) 成人看護援助論 II (常態の維持・増進が困難な人) 成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 基礎ゼミ 看護研究 II (応用編)	専	講師	廣田 真里 (33) <平成29年4月> 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 成人看護援助論 I (急性期) 成人看護援助論 II (慢性期) 成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 基礎ゼミ 看護研究 II	専	講師	廣田 真里 (34) <平成29年4月> 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 成人看護援助論 I (急性期) 成人看護援助論 II (慢性期) 成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 基礎ゼミ 看護研究 I 看護研究 II
								廣田 真里 (35) <平成29年4月> 成人看護援助論 I (急性期) 成人看護援助論 II (慢性期) 成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 基礎ゼミ 看護研究 I 看護研究 II 看護の統合と実践実習
								松村 あゆみ (51) <平成31年4月> 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習 I 老年看護学実習 II 基礎ゼミ 看護研究 I 看護研究 II 看護の統合と実践実習
								秋山 正子 (44) <平成31年4月> 老年看護学実習 I 老年看護学実習 II 在宅看護援助論 在宅看護実習 基礎ゼミ 看護研究 I 看護研究 II 看護の統合と実践実習
								蟹野 貴子 (52) <平成30年4月> 基礎ゼミ 成人看護援助論 I (急性期) 成人看護援助論 II (慢性期) 成人看護学実習 I 成人看護学実習 II
								藤後 栄一 (42) <平成31年4月> 精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護学実習 基礎ゼミ 看護研究 I 看護研究 II 看護の統合と実践実習
兼任	教授	竹内 一夫 (71) <平成29年4月> 社会福祉論 人間関係論 (カウンセリング含む) 家族関係論	兼任	教授	竹内 一夫 (72) <平成29年4月> 社会福祉論 人間関係論 (カウンセリング含む) 家族関係論			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	真鍋 祐之 (63) <平成29年4月> 栄養学 (食品学を含む)
兼任	教授	大平 曜子 (58) <平成29年4月> 教育心理学
兼任	教授	三宅 一郎 (59) <平成29年4月> 健康・スポーツ科学Ⅰ (講義) 健康・スポーツ科学Ⅱ (演習) 健康・スポーツ科学Ⅲ (演習)
兼任	教授	吉原 恵子 (59) <平成29年4月> 社会学
兼任	教授	堀池 聡 (58) <平成29年4月> コンピュータ演習
兼任	教授	河野 真 (55) <平成30年4月> 保健医療福祉行政論
兼任	教授	金子 哲 (54) <平成29年4月> 歴史学 地域文化論
兼任	教授	古田 薫 (54) <平成29年4月> 教育原理 教育制度論
兼任	教授	稲富 恭 (51) <平成29年4月> 色彩とデザイン
兼任	教授	石原 敬子 (50) <平成29年4月> 経済学
兼任	教授	李 良姫 (49) <平成29年4月> 韓国語(初級) 韓国語(中級)
兼任	教授	北島 律之 (47) <平成29年4月> 心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大平 曜子 (59) <平成29年4月> 教育心理学
兼任	教授	三宅 一郎 (60) <平成29年4月> 健康・スポーツ科学Ⅰ (講義)
兼任	教授	吉原 恵子 (60) <平成29年4月> 社会学
兼任	教授	堀池 聡 (59) <平成29年4月> コンピュータ演習
兼任	教授	河野 真 (56) <平成30年4月> 保健医療福祉行政論
兼任	教授	金子 哲 (55) <平成29年4月> 歴史学 地域文化論 地域と文化財 地域資料を読む
兼任	教授	古田 薫 (55) <平成29年4月> 教育制度論
兼任	教授	稲富 恭 (52) <平成29年4月> コンピュータグラフィックス の基礎 色彩とデザイン 職業デザインと地域
兼任	教授	石原 敬子 (51) <平成29年4月> 経済学
兼任	教授	李 良姫 (50) <平成29年4月> 韓国語(初級) 韓国語(中級)
兼任	教授	北島 律之 (48) <平成29年4月> 兵庫大学の学びと和 心理学
兼任	教授	細川 敏三 (62) <平成29年4月> 栄養学 (食品学を含む)
兼任	教授	笹平 康弘 (60) <平成29年4月> 実用英語Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大平 曜子 (60) <平成29年4月> 教育心理学
兼任	教授	三宅 一郎 (61) <平成29年4月> 健康・スポーツ科学Ⅰ (講義)
兼任	教授	吉原 恵子 (61) <平成29年4月> 社会学
兼任	教授	和田 光徳 (58) <平成30年4月> 保健医療福祉行政論
兼任	教授	堀池 聡 (60) <平成29年4月> コンピュータ演習
兼任	教授	金子 哲 (56) <平成29年4月> 歴史学 地域文化論 地域と文化財 地域資料を読む 現代社会の理解 ボランティア入門
兼任	教授	古田 薫 (56) <平成29年4月> 就職概論 教育制度論 教育課程論 (道徳・特別活動を含む)
兼任	教授	稲富 恭 (53) <平成29年4月> コンピュータグラフィックス の基礎 色彩とデザイン 職業デザインと地域 入門ボランティア
兼任	教授	石原 敬子 (52) <平成29年4月> 経済学
兼任	教授	李 良姫 (51) <平成29年4月> 韓国語(初級) 韓国語(中級)
兼任	教授	北島 律之 (49) <平成29年4月> 兵庫大学の学びと和 心理学
兼任	教授	細川 敏三 (63) <平成29年4月> 栄養学 (食品学を含む)
兼任	教授	笹平 康弘 (61) <平成29年4月> 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大平 曜子 (61) <平成29年4月> 教育心理学
兼任	教授	吉原 恵子 (62) <平成29年4月> 社会学
兼任	教授	和田 光徳 (59) <平成30年4月> 社会福祉論 保健医療福祉行政論
兼任	教授	堀池 聡 (61) <平成29年4月> コンピュータ演習
兼任	教授	金子 哲 (57) <平成29年4月> 地域と仏教 歴史学 地域文化論 地域と文化財 地域資料を読む 日本の伝統文化「習字」を学ぶ 現代社会の理解 ヒューマンサービスと マネジメント 入門ボランティア
兼任	教授	古田 薫 (57) <平成29年4月> 就職概論 教育制度論 教育課程論
兼任	教授	稲富 恭 (54) <平成29年4月> コンピュータグラフィックス の基礎 色彩とデザイン 職業デザインと地域 日本の伝統文化「習字」を学ぶ 入門ボランティア
兼任	教授	石原 敬子 (53) <平成29年4月> 経済学
兼任	教授	北島 律之 (50) <平成29年4月> 兵庫大学の学びと和 心理学
兼任	教授	細川 敏三 (64) <平成29年4月> 栄養学 (食品学を含む)
兼任	教授	笹平 康弘 (62) <平成29年4月> 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	齋藤 正寿 (54) <平成29年4月>	兼任	准教授	齋藤 正寿 (55) <平成29年4月>	兼任	准教授	齋藤 正寿 (56) <平成29年4月>	兼任	准教授	齋藤 正寿 (57) <平成29年4月>
		国際関係論 政治学			国際関係論 政治学			国際関係論 政治学			国際関係論 政治学
兼任	准教授	原 志津 (52) <平成29年4月>	兼任	准教授	原 志津 (53) <平成29年4月>	兼任	准教授	原 志津 (54) <平成29年4月>	兼任	准教授	原 志津 (55) <平成29年4月>
		教育相談 (カウンセリングを含む)			教育相談 (カウンセリングを含む)			教育相談 (カウンセリングを含む)			教育相談 (カウンセリングを含む)
兼任	准教授	西田 悦雄 (50) <平成29年4月>									
		コンピュータ演習									
兼任	准教授	佐藤 隆 (50) <平成29年4月>	兼任	准教授	佐藤 隆 (51) <平成29年4月>	兼任	准教授	佐藤 隆 (52) <平成29年4月>	兼任	准教授	佐藤 隆 (53) <平成29年4月>
		生物学			生物学			生物学			生物学
兼任	准教授	本多 彩 (38) <平成29年4月>	兼任	准教授	本多 彩 (39) <平成29年4月>	兼任	准教授	本多 彩 (40) <平成29年4月>	兼任	准教授	本多 彩 (41) <平成29年4月>
		宗教と人生 仏教と現代社会 比較文化論			宗教と人生 仏教と現代社会 兵庫大学の学びと和 兵庫大京都学 比較文化論			宗教と人生 仏教と現代社会 兵庫大学の学びと和 兵庫大京都学 比較文化論			宗教と人生 仏教と現代社会 兵庫大学の学びと和 兵庫大京都学 比較文化論
			兼任	准教授	岡本 洋之 (56) <平成29年4月>	兼任	准教授	岡本 洋之 (57) <平成29年4月>	兼任	准教授	岡本 洋之 (58) <平成29年4月>
					教育原理			教育原理			教育原理
			兼任	准教授	榎本 つぐみ (49) <平成29年4月>	兼任	准教授	榎本 つぐみ (50) <平成29年4月>			
					健康・スポーツ科学Ⅱ (演習)			健康・スポーツ科学Ⅱ (演習)			
					健康・スポーツ科学Ⅲ (演習)			健康・スポーツ科学Ⅲ (演習)			
			兼任	准教授	矢野 琢也 (48) <平成29年4月>	兼任	准教授	矢野 琢也 (49) <平成29年4月>	兼任	准教授	矢野 琢也 (50) <平成29年4月>
					健康・スポーツ科学Ⅰ (講義)			健康・スポーツ科学Ⅰ (講義)			健康・スポーツ科学Ⅰ (講義)
											健康・スポーツ科学Ⅱ (演習)
											健康・スポーツ科学Ⅲ (演習)
			兼任	准教授	種積 隆広 (47) <平成29年4月>	兼任	准教授	種積 隆広 (48) <平成29年4月>	兼任	准教授	種積 隆広 (49) <平成29年4月>
					コンピュータ演習 身のまわりの科学			コンピュータ演習 身のまわりの科学 プログラミング入門			コンピュータ演習 身のまわりの科学 プログラミング入門
			兼任	准教授	佐竹 邦子 (47) <平成29年4月>	兼任	准教授	佐竹 邦子 (48) <平成29年4月>	兼任	准教授	佐竹 邦子 (49) <平成29年4月>
					コンピュータ演習 コンピュータグラフィックス の基礎			コンピュータ演習 コンピュータグラフィックス の基礎 保健統計学			コンピュータ演習 コンピュータグラフィックス の基礎 保健統計学
			兼任	准教授	沖野 光二 (47) <平成29年4月>	兼任	准教授	沖野 光二 (48) <平成29年4月>			
					現代社会の理解			現代社会の理解			
			兼任	准教授	河野 裕 (46) <平成29年4月>	兼任	准教授	河野 裕 (47) <平成29年4月>	兼任	准教授	河野 裕 (48) <平成29年4月>
					コンピュータ演習			コンピュータ演習			コンピュータ演習
兼任	講師	平本 幸治 (55) <平成29年4月>									
		英語									
兼任	講師	嶋津 裕子 (55) <平成29年4月>	兼任	講師	嶋津 裕子 (56) <平成29年4月>	兼任	講師	嶋津 裕子 (57) <平成29年4月>			
		食と健康			食と健康			食と健康			
兼任	講師	湯瀬 晶文 (46) <平成29年4月>	兼任	講師	湯瀬 晶文 (47) <平成29年4月>	兼任	講師	湯瀬 晶文 (48) <平成29年4月>	兼任	講師	湯瀬 晶文 (49) <平成29年4月>
		保健統計学			身のまわりの科学 兵庫大京都学 入門ポランティア 保健統計学			身のまわりの科学 兵庫大京都学 入門ポランティア 保健統計学			地域と仏教 身のまわりの科学 兵庫大京都学 入門ポランティア
兼任	助教	宇野 裕美子 (35) <平成29年4月>	兼任	助教	宇野 裕美子 (36) <平成29年4月>	兼任	助教	宇野 裕美子 (37) <平成29年4月>	兼任	助教	宇野 裕美子 (38) <平成29年4月>
		栄養学 (食品学を含む)			栄養学 (食品学を含む)			栄養学 (食品学を含む)			栄養学 (食品学を含む)

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

小島賢子准教授辞任のため森田寛子教授に変更。
瀧本茂子准教授辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。
久井志保准教授辞任のため、福川京子教授に変更。
掛川静代助教辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。
在宅看護分野の充実のため、高見千恵教授を採用。

【平成30年度】

福川京子教授辞任のため、尾崎八代准教授に変更。
小野晴子教授教授辞任のため、肥後すみ子教授に変更。
新田幸子教授辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。
柴田順子講師辞任のため、細川愛美講師に変更。
西原かおり助教辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。
小児看護学分野として、小島光華講師を採用。
長尾憲樹教授が看護学部看護学科から健康科学部健康システム学科に異動。専任から兼任に変更。
鷲野貴子助手が助教に昇任。

【令和元年度】

石田宜子教授辞任のため、柴山健三教授を採用。
肥後すみ子教授辞任のため、松村あゆみ講師を採用。
和田知世講師辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。
天本都講師辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。
西山忠博講師辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。
大塚千秋講師辞任のため、石井俊行准教授を採用。
鷲野貴子助教辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。
藤後栄一助手が助教に昇任。
成人看護分野の充実のため、根本順子准教授を採用。
在宅看護分野の充実のため、秋山正子講師を採用。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
10	5	9	3	27	10	5	10	1	26
(10)	(5)	(9)	(3)	(27)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
10	5	10	1	26	10	5	10	1	26
[0]	[0]	[1]	[Δ2]	[Δ1]	[0]	[0]	[1]	[Δ2]	[Δ1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
67	3	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{26}{27} = \boxed{96.29} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{26} = \boxed{11.53} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計（D）						後任補充状況の集計（E）	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	小島 賢子	H29.3	必修	小児看護学概論	①	他大学への転出希望のため依願退職（29）
				必修	小児看護援助論	①	
				必修	小児看護学実習	①	
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
2	准教授	瀧本 茂子	H29.3	必修	老年看護学概論	①	体調不良による依願退職（29）
				必修	老年看護援助論	①	
				必修	老年看護学実習Ⅰ	①	
				必修	老年看護学実習Ⅱ	①	
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護の統合と実践実習	①	
3	准教授	久井 志保	H29.3	必修	保健福祉行政論	①	休職期間満了に伴う依願退職（29）
				必修	公衆衛生看護学概論	①	
				必修	健康教育論	①	
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護の統合と実践実習	①	
				選択	公衆衛生看護学活動展開論	①	
				選択	産業保健論	①	
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅰ	①	
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅱ	①	
				選択	公衆衛生看護学特論	①	

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
4	助教	掛川 静代	H29.3	必修	ヘルスアセスメント	①	家庭の事情による依願退職 (29)
				必修	看護技術論Ⅰ (生活技術援助)	①	
				必修	看護技術論Ⅱ (診療技術援助)	①	
				必修	看護技術論Ⅲ (看護過程)	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護の統合と実践実習	①	
5	教授	福川 京子	H30.3	必修	保健医療福祉行政論	①	他大学への転出希望のため依願退職 (30)
				必修	公衆衛生看護学概論	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護の統合と実践実習	①	
				選択	公衆衛生看護学 活動展開論	①	
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅰ	①	
				選択	公衆衛生看護学実習Ⅱ	①	
6	講師	柴田 順子	H30.3	必修	学校保健概論	①	家庭の事情による依願退職 (30)
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				選択	学校保健活動論	①	
				選択	学校保健演習	①	
				選択	養護概説	①	
				選択	教職実践演習 (養護教諭)	①	
7	助教	西原 かおり	H30.3	必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	他大学への転出希望のため依願退職 (30)
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
				必修	老年看護援助論	①	
				必修	老年看護学実習Ⅰ	①	
				必修	老年看護学実習Ⅱ	①	
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
				必修	看護の統合と実践実習	①	
				8	教授	石田 宜子	
必修	成人看護学概論	①					
必修	成人看護援助論Ⅰ (急性期)	①					
必修	成人看護援助論Ⅱ (慢性期)	①					
必修	成人看護学実習Ⅰ	①					
必修	成人看護学実習Ⅱ	①					
必修	健康教育論	①					
必修	看護研究Ⅰ	①					
必修	看護研究Ⅱ	①					
必修	看護の統合と実践実習	①					
9	教授	肥後 すみ子	H31.3	必修	看護教育学	①	他大学への転出希望のため依願退職 (元)
				必修	老年看護学概論	①	
				必修	老年看護援助論	①	
				必修	老年看護学実習Ⅰ	①	
				必修	老年看護学実習Ⅱ	①	
				必修	基礎ゼミ	①	
				必修	看護研究Ⅰ	①	
				必修	看護研究Ⅱ	①	
必修	看護の統合と実践実習	①					

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
10	講師	天本 都	H31.3	必修	臨床病理病態学Ⅳ (周産期・小児科系)	①	家庭の事情による依願退職(元)						
				必修	母性看護援助論	①							
				必修	母性看護学実習	①							
				必修	基礎ゼミ	①							
				必修	看護研究Ⅰ	①							
				必修	看護研究Ⅱ	①							
				必修	看護の統合と実践実習	①							
11	講師	大塚 千秋	H31.3	必修	成人看護援助論Ⅰ (急性期)	①	家庭の事情による依願退職(元)						
				必修	成人看護援助論Ⅱ (慢性期)	①							
				必修	成人看護学実習Ⅰ	①							
				必修	成人看護学実習Ⅱ	①							
				必修	基礎ゼミ	①							
				必修	看護研究Ⅰ	①							
				必修	看護研究Ⅱ	①							
				必修	看護の統合と実践実習	①							
12	講師	西山 忠博	H31.3	必修	ヘルスアセスメント	①	他大学への転出希望のため依願退職(元)						
				必修	看護技術論Ⅰ (生活援助技術)	①							
				必修	看護技術論Ⅱ (診療補助技術)	①							
				必修	看護技術論Ⅲ (看護過程)	①							
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①							
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①							
				必修	基礎ゼミ	①							
				必修	看護研究Ⅰ	①							
				必修	看護研究Ⅱ	①							
				必修	看護の統合と実践実習	①							
13	講師	和田 知世	H31.3	必修	成人看護援助論Ⅰ (急性期)	①	契約期間満了のため退職(元)						
				必修	成人看護援助論Ⅱ (慢性期)	①							
				必修	成人看護学実習Ⅰ	①							
				必修	成人看護学実習Ⅱ	①							
				必修	基礎ゼミ	①							
				必修	看護研究Ⅰ	①							
				必修	看護研究Ⅱ	①							
				必修	看護の統合と実践実習	①							
14	助教	鷺野 貴子	H31.3	必修	成人看護援助論Ⅰ (急性期)	①	他大学への転出希望のため依願退職(元)						
				必修	成人看護援助論Ⅱ (慢性期)	①							
				必修	成人看護学実習Ⅰ	①							
				必修	成人看護学実習Ⅱ	①							
				必修	基礎ゼミ	①							
合計(F)					後任補充状況の集計(G)								
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)				
14	人	必修	40	科目	必修	40	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	40	科目	計	40	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
14 人	必修	40 科目	必修	40 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	40 科目	計	40 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{27} = \boxed{51.85} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授	小野 晴子	必修	看護管理学	②	H30. 3. 31付け定年退職 (30)		
			必修	老年看護学概論	①			
			必修	老年看護援助論	①			
			必修	老年看護学実習 I	①			
			必修	老年看護学実習 II	①			
			必修	基礎ゼミ	①			
			必修	看護研究 I	①			
			必修	看護研究 II	①			
2	教授	新田 幸子	必修	看護教育学	①	H30. 3. 31付け定年退職 (30)		
			必修	在宅看護概論	①			
			必修	在宅看護援助論	①			
			必修	在宅看護実習	①			
			必修	基礎ゼミ	①			
			必修	看護研究 I	①			
			必修	看護研究 II	①			
			必修	看護の統合と実践実習	①			
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2 人	必修	17 科目	必修	16 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	17 科目	計	16 科目	計	1 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」

〔平成29年5月報告〕

小島賢子准教授、久井志保准教授は同分野の教授職が就任した。瀧本茂子准教授、掛川静代助教は同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。

〔平成30年5月報告〕

福川京子教授の後任として、尾崎八代准教授を平成30年4月1日付で採用した。
小野晴子教授の後任として、肥後すみ子教授を平成30年4月1日付で採用した。
新田幸子教授の担当科目は、同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。
柴田順子講師の後任として細川愛美講師を平成30年4月1日付で採用した。
西原かおり助教の担当科目は同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。

〔令和元年5月報告〕

石田宜子教授の後任として、柴山健三教授を平成31年4月1日付で採用した。
肥後すみ子教授の後任として、松村あゆみ講師を平成31年4月1日付で採用した。
天本都講師の担当科目は、同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。
大塚千秋講師の後任として、石井俊行准教授を平成31年4月1日付で採用した。
西山忠博講師の担当科目は、同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。
和田知世講師の担当科目は、同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。
鷺野貴子助教の担当科目は、同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。

「学生への周知方法」

学生に対しては、学期開始時期に実施するオリエンテーション期間内において説明を行った。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
<p>設 置 時 (平成28年7月)</p>	<p>現代ビジネス学部現代ビジネス学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>留意事項</p> <p>昨年度は教員と事務職員による高校訪問の実施に加え、出前授業（アカデミックレクチャー）を新規で実施した。さらに学科主催の高校生向けイベントである「第2回現代ビジネスプラン・コンペ」を実施するなど、募集活動及び学科の周知活動を展開し、志願者の増加（昨年の1.39倍）にはつながったが、学生確保に至らなかった。 今年度は、附属校及び出願・入学実績のある重点校への営業訪問や出前授業（アカデミックレクチャー）を積極的に実施し、学科の教育内容や特色などについて高校生等を中心に魅力を伝えていく。また、高校や塾、予備校などとの関係親密化を図るとともに、オープンキャンパスの改善を図り、学生確保に努める。（29）</p>	<p>履行中</p> <p>昨年度の学生募集については、学科の教育内容の理解促進や魅力発信をさらに強化するため、オープンキャンパスのコンセプト設定及び模擬授業等の見直し、オープンキャンパス以外での学科プレゼンスを向上させるための高校生対象の各種セミナーの実施、公式サイトや受験生応援サイト、SNSを活用した発信、各種制作物の見直しなどを実施した。また、学科教員による高校訪問を強化し、109校（前年50校）実施した。出前授業（アカデミックレクチャー等）については、前年並みの19件（前年21件）を実施した。結果、志願者の増加（昨年の1.38倍）、入学者の増加（昨年の1.44倍）を見たが、留意事項を改善できるような学生数は確保できなかった。今年度は、高校生の進路決定の早期化を念頭に置きながら活動を行うとともに、昨年度の活動を基本にさらに内容を充実させ、附属校や出願・入学実績のある重点校及び本学科の専門と類似する専門学科、普通科の類型・コースを有する高校へ募集活動を積極的に実施していく。（30）</p>
<p>設置計画履行状況調査時 (平成29年2月)</p>	<p>現代ビジネス学部現代ビジネス学科の定員充足率が0.7未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p> <p>昨年度は教員と事務職員による高校訪問の実施に加え、出前授業（アカデミックレクチャー）を新規で実施した。さらに学科主催の高校生向けイベントである「第2回現代ビジネスプラン・コンペ」を実施するなど、募集活動及び学科の周知活動を展開し、志願者の増加（昨年の1.39倍）にはつながったが、学生確保に至らなかった。 今年度は、附属校及び出願・入学実績のある重点校への営業訪問や出前授業（アカデミックレクチャー）を積極的に実施し、学科の教育内容や特色などについて高校生等を中心に魅力を伝えていく。また、高校や塾、予備校などとの関係親密化を図るとともに、オープンキャンパスの改善を図り、学生確保に努める。（29）</p>	<p>履行中</p> <p>昨年度の学生募集については、学科の教育内容の理解促進や魅力発信をさらに強化するため、オープンキャンパスのコンセプト設定及び模擬授業等の見直し、オープンキャンパス以外での学科プレゼンスを向上させるための高校生対象の各種セミナーの実施、公式サイトや受験生応援サイト、SNSを活用した発信、各種制作物の見直しなどを実施した。また、学科教員による高校訪問を強化し、109校（前年50校）実施した。出前授業（アカデミックレクチャー等）については、前年並みの19件（前年21件）を実施した。結果、志願者の増加（昨年の1.38倍）、入学者の増加（昨年の1.44倍）を見たが、留意事項を改善できるような学生数は確保できなかった。今年度は、高校生の進路決定の早期化を念頭に置きながら活動を行うとともに、昨年度の活動を基本にさらに内容を充実させ、附属校や出願・入学実績のある重点校及び本学科の専門と類似する専門学科、普通科の類型・コースを有する高校へ募集活動を積極的に実施していく。（30）</p>
	<p>生涯福祉学部子ども福祉学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p>	<p>改善意見</p> <p>定年規程に定める退職年齢（年度末で67歳）を超える専任教員は、設置計画履行状況調査時（平成29年2月）で2人在籍していた。そのうち1人は平成28年度末（平成29年3月）で退職し、その後任として30代後半の専任教員を採用した。今後も年齢構成の高齢化を改善していくため、計画的な教員採用を行っていく。（29）</p>	<p>履行済</p>

<p>設置計画履行状況</p> <p>調査時</p> <p>(平成30年2月)</p>	<p>現代ビジネス学部現代ビジネス学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>昨年度の学生募集については、学科の教育内容の理解促進や魅力発信をさらに強化するため、オープンキャンパスのコンセプト設定及び模擬授業等の見直し、オープンキャンパス以外での学科プレゼンスを向上させるための高校生対象の各種セミナーの実施、公式サイトや受験生応援サイト、SNSを活用した発信、各種制作物の見直しなどを実施した。また、学科教員による高校訪問を強化し、109校（前年50校）実施した。出前授業（アカデミックレクチャー等）については、前年並みの19件（前年21件）を実施した。結果、志願者の増加（昨年の1.38倍）、入学者の増加（昨年の1.44倍）を見たが、留意事項を改善できるような学生数は確保できなかった。今年度は、高校生の進路決定の早期化を念頭に置きながら活動を行うとともに、昨年度の活動を基本にさらに内容を充実させ、附属校や出願・入学実績のある重点校及び本学科の専門と類似する専門学科、普通科の類型・コースを有する高校へ募集活動を積極的に実施していく。</p> <p>現代ビジネス学科については、平成30年の入試結果は前年度より改善されたが、なお、定員未充足の状態は続いているので、定員の見直し策等の検討に着手する。（30）</p>	<p>履行中</p> <p>昨年度の学生募集については、引き続き、学科の教育内容の理解促進や魅力発信を行うためオープンキャンパスにおける体験授業の充実や学科プレゼンスを向上させるための高校生対象の各種セミナーの実施、公式サイトや受験生応援サイト、SNSを活用した発信、新規制作物の制作などを実施した。</p> <p>学科教員による高校訪問については、昨年度より強化し166校（前年109校）実施した。出前授業（アカデミックレクチャー等）については、8件（前年19件）を実施した。</p> <p>また、昨年度からは、高大接続改革の視点での高校との実質的な連携を促進させるべく、地元近隣高等学校9校（現在12校）との地域活性化連携協定を締結し、特に現代ビジネス学科の教育内容の理解促進を図った。入学者選抜方法についても、AO入試のリニューアルを図り、高等学校における総合的な学習の時間での活動や課外での各種団体等が主催するコンテストでの成果を活用できる探究学習成果活用型を導入するなど、高大接続改革における学力の3要素を多面的に評価する方法を導入し、高校現場に周知を図った。その他、公募推薦入試、一般入試などの入試内容をチラシ作成や受験生応援サイトでの掲載を行い、高校生等にわかりやすい内容で入試を周知した。</p> <p>さらには、経済・経営系の志願者層や現代ビジネス学科の競合校をターゲットとした一般入試志願者増加のための各種募集対策を12月～3月まで実施した。</p> <p>結果、志願者の増加（昨年の2.28倍）、入学者の増加（昨年の1.91倍）となり、留意事項を改善できるような学生数は確保できなかったが、単年度の入学定員充足率が89%にまで上昇してきたことで今後さらなる改善が見込めるようになった。</p> <p>今年度は、高校生の進路決定の早期化や昨今の大手私立大学の定員厳格化の影響による進路指導の変化を念頭に置きながら活動を行うとともに、昨年度、一昨年度からの活動を基本にさらに内容を充実させ、附属校からの出願促進はもとより、地域活性化連携協定校からの出願促進も図り、定員充足へ向け募集活動を積極的に実施していく。さらに、定員の見直しをはかり、2020年度に120人から100人へ20人の定員減を行う。（元）</p>
---	--	-------------	--	---

	<p>同一設置者が設置する既設学部等（健康科学部栄養マネジメント学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>昨年度の学生募集については、学科の教育内容の理解促進や魅力発信をさらに強化するため、オープンキャンパスのコンセプト設定及び模擬授業等の見直し、オープンキャンパス以外での学科プレゼンスを向上させるための高校生対象の各種セミナーの実施、公式サイトや受験生応援サイトを活用した発信、各種制作物の見直しなどを実施した。また、高校で行われる進学説明会へ学科教員が積極的に参加し、14校（前年0校）で直接高校生（低学年も含む）と接触する機会をつくった。結果、志願者の増加（昨年の1.13倍）、入学者の増加（昨年の1.23倍）を見たが、留意事項を改善できるような学生数は確保できなかった。今年度は、高校生の進路決定の早期化を念頭に置きながら活動を行うとともに、さらに入学者を増加させるべく、昨年度の活動を基本にさらに内容を充実させ、学科教員による高校訪問も実施するなど、附属校や出願・入学実績のある重点校への募集活動を積極的に実施していく。なお、編入学生については20人から5人に定員減少を行う。（30）</p>	<p>履行中</p> <p>昨年度の学生募集については、引き続き、学科の教育内容の理解促進や魅力発信を行うためオープンキャンパスにおける体験授業の充実や学科プレゼンスを向上させるための高校生対象の各種セミナーの実施、公式サイトや受験生応援サイト、SNSを活用した発信、新規制作物の制作などを実施した。高校で行われる進学説明会については、学科教員が積極的に参加し、11校（前年14校）で直接高校生（低学年も含む）と接触する機会をつくった。なお、出前授業（アカデミックレクチャー等）については、実施できなかったが、学科教員による高校訪問を新規で実施し、15校訪問した。また、入学者選抜方法についても、A0入試のリニューアルを図り、高等学校における総合的な学習の時間での活動や課外での各種団体等が主催するコンテストでの成果を活用できる探究学習成果活用型を導入するなど、高大接続改革における学力の3要素を多面的に評価する方法を導入し、高校現場に周知を図った。その他、公募推薦入試、一般入試などの入試内容をチラシ作成や受験生応援サイトでの掲載を行い、高校生等にわかりやすい内容で入試を周知した。さらには、一般入試志願者増加のために、競合校との併願者増加を意識して入試科目に生物・化学を新規で設定したり、授業料負担を少しでも軽減するための制度（一般入試の成績優秀者への減免制度、入学後の経済的支援を要する成績良好者に対する奨学金制度）を新規で導入するなど、各種募集対策を12月～3月まで実施した。結果、志願者の増加（昨年の1.31倍）、入学者の増加（昨年の1.06倍）を見たが、留意事項を改善できるような学生数は確保できず、単年度の入学定員充足率は77.5%に留まった。兵庫県でも近年管理栄養士を目指す高校生の減少により、競合校も軒並み志願者が減少している厳しい状況ではあるが、今年度は、高校生の進路決定の早期化や昨今の大手私立大学の定員厳格化の影響による進路指導の変化を念頭に置きながら活動を行うとともに、昨年度、一昨年度からの活動を基本にさらに内容を充実させ、学科教員による高校訪問も強化するなど、附属校や出願・入学実績のある重点校への募集活動を積極的に実施していく。（元）</p>
--	--	-------------	--	---

<p>設置計画履行状況 調査時 (平成31年2月)</p>	<p>現代ビジネス学部現代ビジネス学科の入学定員未充足の改善に努めること。</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>昨年度の学生募集については、引き続き、学科の教育内容の理解促進や魅力発信を行うためオープンキャンパスにおける体験授業の充実や学科プレゼンスを向上させるための高校生対象の各種セミナーの実施、公式サイトや受験生応援サイト、SNSを活用した発信、新規制作物の制作などを実施した。</p> <p>学科教員による高校訪問については、昨年度より強化し166校（前年109校）実施した。出前授業（アカデミックレクチャー等）については、8件（前年19件）を実施した。</p> <p>また、昨年度からは、高大接続改革の視点での高校との実質的な連携を促進させるべく、地元近隣高等学校9校（現在12校）との地域活性化連携協定を締結し、特に現代ビジネス学科の教育内容の理解促進を図った。入学者選抜方法についても、AO入試のリニューアルを図り、高等学校における総合的な学習の時間での活動や課外での各種団体等が主催するコンテストでの成果を活用できる探究学習成果活用型を導入するなど、高大接続改革における学力の3要素を多面的に評価する方法を導入し、高校現場に周知を図った。その他、公募推薦入試、一般入試などの入試内容をチラシ作成や受験生応援サイトでの掲載を行い、高校生等にわかりやすい内容で入試を周知した。</p> <p>さらには、経済・経営系の志願者層や現代ビジネス学科の競合校をターゲットとした一般入試志願者増加のための各種募集対策を12月～3月まで実施した。</p> <p>結果、志願者の増加（昨年の2.28倍）、入学者の増加（昨年の1.91倍）となり、留意事項を改善できるような学生数は確保できなかったが、単年度の入学定員充足率が89%にまで上昇してきたことで今後さらなる改善が見込めるようになった。</p> <p>今年度は、高校生の進路決定の早期化や昨今の大手私立大学の定員厳格化の影響による進路指導の変化を念頭に置きながら活動を行うとともに、昨年度、一昨年度からの活動を基本にさらに内容を充実させ、附属校からの出願促進はもとより、地域活性化連携協定校からの出願促進も図り、定員充足へ向け募集活動を積極的に実施していく。さらに、定員の見直しをはかり、2020年度に120人から100人へ20人の定員減を行う。（元）</p>	<p>履行中</p>
---------------------------------------	---	----------------------	--	------------

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
・校舎面積 a 専用 2,563㎡ b 共用 28,301㎡ c 共用する他の学校等の専用 1,967㎡	校舎面積について、大学短大全体の学部等別使用教室の精査に伴う変更。 a 専用の面積 2,563㎡から1,333.93㎡に変更 b 共用の面積 28,301㎡から27,951.72㎡に変更 c 共用する他の学校等の専用の面積 1,967㎡から1,773.35㎡に変更 なお、学生の教育研究に支障はない。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 兵庫大学・兵庫大学短期大学部FD・SD推進委員会規程(別紙1)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>第1回 平成30年4月18日(水) 出席12名 第2回 平成30年5月22日(火) 出席10名 第3回 平成30年6月26日(火) 出席11名 第4回 平成30年7月24日(火) 出席11名 第5回 平成30年9月11日(火) 出席10名 第6回 平成30年10月26日(金) 出席8名 第7回 平成30年11月30日(金) 出席8名 第8回 平成30年12月20日(木) 出席9名 第9回 平成31年1月24日(木) 出席10名 第10回 平成31年2月27日(水) 出席10名 第11回 平成31年3月20日(水) 出席9名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>第1回 (1) FD・SDニュースレター(第4号)アンケートの集計について (2) 「兵庫大学・兵庫大学短期大学部FD・SD推進委員会規程」の廃止について</p> <p>第2回 (1) FD・SD推の事務担当について (2) 新任教職員研修のアンケート結果について</p> <p>第3回 (1) 平成30年度FD・SD活動事業計画の進捗状況について ①授業評価アンケートの実施と活用について ②授業公開について ③教職員カフェについて ④FD・SDニュースレターの発行について</p> <p>第4回 (1) 平成30年度FD・SD活動事業計画の進捗状況について ①初年次教育の実施状況把握について</p>

- ②授業アンケートの実施と活用について
- ③ALに関する研修会（教職員FD・SD講演会）について
- ④教職員カフェについて
- (2) 平成30年度FD・SDカレンダーについて

- 第5回 (1) 平成30年度FD・SD活動事業計画の進捗状況について
- ①初年次教育の実施状況把握について
 - ②授業アンケートの実施と活用について
 - ③授業公開について
 - ④教職員カフェについて
- (2) 平成30年度FD・SDカレンダーについて

- 第6回 (1) 平成30年度FD・SD活動事業計画の進捗状況について
- ①授業アンケートの実施と活用について
 - ②授業公開について
 - ③ALに関する研修会（教職員FD・SD講演会）について
 - ④FD・SDニュースレターの発行について

- 第7回 (1) 平成30年度FD・SD活動事業計画の進捗状況について
- ①授業アンケートの実施と活用について
 - ②授業公開について
 - ③ALに関する研修会（教職員FD・SD講演会）について
- (2) 2019年度の事業計画と予算について

- 第8回 (1) 平成30年度FD・SD活動事業計画の進捗状況について
- ①授業アンケートの実施と活用について
 - ②授業公開について
 - ③ALに関する研修会（教職員FD・SD講演会）について
 - ④FD・SDニュースレターの発行について
- (2) 2019年度の事業計画と予算について

- 第9回 (1) 平成30年度FD・SD活動事業計画の進捗状況について
- ①新任教職員研修について
 - ②授業アンケートの実施と活用について
- (2) 2019年度の事業計画（案）について

- 第10回 (1) 授業アンケートの実施と活用について
- (2) ALに関する研修会について
 - (3) 職員カフェについて

- 第11回 (1) 平成30年度FD・SD研修会参加率について
- (2) 2018年度Ⅱ期授業アンケート集計結果について
 - (3) 2018年度Ⅱ期授業アンケート集計結果の返却について
 - (4) 2019年度授業アンケートについて

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 新任教職員研修
- ・ 初年次教育の実施状況把握
- ・ 授業アンケート
- ・ 授業公開
- ・ ALに関する研修会（教職員FD・SD研修会含む）
- ・ 教職員カフェ（ワークショップ形式及びフリーディスカッション形式で行う情報交換）
- ・ FD・SDニュースレターの発行
- ・ FD・SD研修会

b 実施方法

- ・ 新任教職員研修
年度初めに新任教職員対象に「新任教職員研修プログラム」を実施
- ・ 初年次教育の実施状況把握
「日本語（読解と表現）」「英語」「コンピュータ演習」の各授業科目について、学科が希望する授業内容（実施項目）の調査実施を計画したが、FD・SDオフィス会議において兵大Basics(A)として位置づけ検討することとなった。
兵大Basicsの「学びの基礎力(A)」および「専門的学修の基礎力(B)」を養成する科目を各学科において検討した。
- ・ 授業アンケート
各学期末(7月、1月)にWebによる授業アンケートを実施した。
- ・ 授業公開
I期・II期ともに、全学科において公開科目を設定し、公開期間内において教職員による授業参観を実施。
教職員は最低1回の授業参観を行うこととして実施。
参観後は、参観シートを記入の上、授業公開者へフィードバックを行った。
また、授業公開者においても授業公開実施報告書の作成・提出を依頼した。
- ・ ALに関する研修会（教職員FD・SD研修会含む）
テーマを設定し、全教職員に対し周知を行い、講演会を全3回（10月、11月、2月）実施した。
- ・ 教職員カフェ（ワークショップ形式及びフリーディスカッション形式で行う情報交換）
I期授業公開終了後に参観シートの内容をもとに授業に関するディスカッションを実施した。
また、ALに関する研修会（教職員FD・SD講演会）に合わせて、研修会の前後に実施した。
- ・ FD・SDニュースレターの発行
「兵庫大学・兵庫大学短期大学部FD・SDニュースレター」を年2回（9月、3月）発行し、全教職員に配付した。
また、学園関係部署や他大学の関係部署等に送付した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 新任教職員研修
（教育分野）平成30年4月2日（月）開催 対象者17人、参加者17人（参加率100%）
（研究分野及び地域連携関連）平成30年4月3日（火）開催 対象者17人、参加者15人（参加率88.2%）
- ・ 初年次教育の実施状況把握
FD・SDオフィス会議の原案に基づき、兵大BasicsABCの「A」学びの基礎力を共通教育機構において、「B」専門的学修の基礎力を養成する科目を各学科において検討した。
- ・ 授業アンケート
I期期末：平成30年7月10日（火）～7月30日（月） 回答率 32.5%
I期全科目を対象に授業内及び授業外で実施（一部演習・実習科目を除く）

Ⅱ期期末：平成31年1月7日（月）～2月1日（金） 回答率 26.5%

Ⅱ期全科目を対象に授業内及び授業外で実施（一部演習・実習科目を除く）

（実施後のフロー：学生）

- ・授業アンケート結果集計後、アンケート結果の概要をまとめ、学生掲示板において公表（ポスター掲示）。
- ・授業アンケートの詳細な集計結果（大学、短大、各学科別）を学生に対して教学情報システムにて公表。

（実施後のフロー：教員）

- ・実施後、専任教員に対し「Webアンケート実施にかかるアンケート」を実施。
- ・専任教員および兼任教員に科目シートを返却。
- ・科目担当者は、「授業アンケート」に関するアンケートを記入し、委員会に提出。
- ・カリキュラム改善および授業改善に活用。

・ 授業公開

I期：平成30年5月21日（月）～6月23日（土）

公開科目数177科目 授業参観延べ人数 99人（専任教員57人、専任職員42人）

Ⅱ期：平成30年10月22日（月）～11月24日（土）

公開科目数127科目 授業参観延べ人数 53人（専任教員32人、専任職員21人）

・ ALに関する研修会（教職員FD・SD講演会）

第1回 平成30年10月3日（水） 参加者131人（教員100人、職員41人）

「いま、なぜ学修成果の可視化なのか ～大学の信頼性と説明責任～」

リクルート進学総研所長・カレッジマネジメント編集長 小林 浩 氏

第2回 平成30年11月 7日（水） 参加者128人※（教員92人、職員36人）

「なぜ、今学修成果が、求められるのか ～具体的な指標づくりを目指して～」

関西学院大学教育学部 准教授 江原 昭博 氏

※不参加の教職員に対して、DVD視聴による研修を促した。（51人）

第3回 平成31年2月14日（木） 参加者47人（教員41人、職員6人）

「PBL（課題解決型学習）による学生の成長」

兵庫大学現代ビジネス学科 教授 榎木 浩 氏

兵庫大学健康システム学科 講師 米野 吉則 氏

兵庫大学社会福祉学科 准教授 小倉 毅 氏

・ 教職員カフェ（ワークショップ形式及びフリーディスカッション形式で行う情報交換）

第1回 平成30年8月8日（水） 参加者44人（教員36人、職員8人）

○ミニ講義「ありがとう」は幸せのキーワード 共通教育機構 教授 北島 律之 氏

○グループワーク（I期授業公開に関するフリーディスカッション）

第2回 平成30年10月3日（水） 参加者131人（教員100人、職員41人）

ALに関する研修会（教職員FD・SD講演会）の前後で開催

第3回 平成30年11月 7日（水） 参加者128人（教員92人、職員36人）

ALに関する研修会（教職員FD・SD講演会）の前後で開催

第4回 平成31年2月14日（木） 参加者47人（教員41人、職員6人）

ALに関する研修会（教職員FD・SD講演会）の前後で開催

・ FD・SDニュースレターの発行

No. 5発行：平成30年9月

No. 6発行：平成31年3月

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

ALに関する研修会（教職員FD・SD講演会）を実施したことにより、学修成果の可視化に向けて理解を深め、考えるきっかけとなり、各教職員の教育の質向上に対する意識を高めることができた。

授業公開実施後には、教職員カフェを開催した。授業公開及び参観結果を踏まえた気づきや授業の実施方法等についてディスカッションを行うことにより授業改善に向けた意識が高まった。

また、交流により教職員間の意見交換が進み、組織的に教育力向上に取り組む風土醸成につながった。

平成30年度はWebによる授業アンケートを初めて実施した。実施後は、学生に対しアンケート結果の概要をわかりやすく公表した。また、教員についてもアンケート結果をフィードバックした上で、その結果に対する授業改善に向けたコメントを記載してもらった。学生と教員がともに授業を振り返ることで、今後の授業改善に活用できるだけでなく、教育と学修を全学の視点から考察するデータ資料となった。

FD・SDニュースレターの発行により、大学全体としての教育に対する課題や指針等を伝えるとともに、実際の「FD・SD活動」を周知することができた。「STAFF VOICE」では、職員の仕事内容や業務上の学生との関わり等を伝えることにより、教職協働を進展させる一助ともなった。

以上のような活動を通じて、教員相互、また教職員間において、実質的な授業改善に関する意識と技術を高めるとともに、教育改革の必要性と課題を認識することができ、教育の質向上にむけた啓発および取り組み、環境整備を推進することができた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有

I 期期末：平成30年7月10日（火）～7月30日（月）

II 期期末：平成31年1月7日（月）～2月1日（金）

b 教員や学生への公開状況、方法等

各科目担当教員（兼任教員含む）へ結果を配付し、集計結果をインターネットにおいて公表。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙2のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和元年11月下旬 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開（予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成28年度に認証評価機関「日本高等教育評価機構」において受審済。

・次回受審年度は平成35年度までに受審する予定で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 年 月 日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。